

DAISHIN REPORT

だしん



大伸報 46 号 月例研修会集 令和 6 年版←

だいしん
第46号
目次

	PAGE
TOP MESSAGE	
● 巻頭言 代表取締役社長 石田 秀雄	1
月例研修会 (R.6年1月・R.5年2月～R.5年12月)	
● R6年1月 ファインプレーより堅実、確実に	石田 秀雄 2
● R5年2月 春日井事業部の現状と対策	石田 正樹 4
● R5年3月 今期の反省と来期の抱負	宮地 信隆 6
● R5年4月 モチベーション維持	石田 哲也 8
● R5年5月 涵養に努めましょう	碧山 純子 10
● R5年6月 性善説と性悪説	小山 正之 12
● R5年7月 免疫力を高める	吉越 康 14
● R5年8月 春日井事業部の対策と効果	石田 正樹 16
● R5年9月 前半期を終えて	宮地 信隆 18
● R5年10月 税に対する向き合い方	三好 長城 20
● R5年11月 日常にメリハリをつける	石田 哲也 22
● R5年12月 安全は一人ひとりが責任者	岡西 豊博 24
■ 月例研修会一覧表	26
■ 基本指針・行動指針・作業標語	31
■ 令和6年度(第64期)運営基本態度	34
■ わが社の月例強化目標朝礼集	35
■ 経営理念	39
■ 令和6年度研修会発表予定表	40
■ 会社概要	41
■ 会社の沿革	42
■ 総務だより	44
■ 令和6年度休日予定表・編集後記	48

巻頭言

— 会長 石田清和喜を偲んで —

代表取締役社長

石田 秀雄

昨年、十一月二六日 弊社会長石田清和喜は、享年九三歳にて生涯をとじました。人生の途上で出会い、お力添えくださったすべての方へ、生前のご厚情に深く感謝申し上げます。

会長として、堅実経営を貫き、お取引先様との信頼関係を大切にしてきた背中を私どもは長年見て参りました。

今後は、その遺志を受け継ぐ所存でございます。引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



家族葬で送らせていただきました。葬儀会場に、石田会長愛用のアコーディオンと母校 関西学院大学応援歌「新月旗のもとに」(作曲;石田清和喜)の記念盾、卒業アルバムを飾り、家族で思い出話に花を咲かせました。



年頭研修会

第597回

令和六年一月六日

講師

代表取締役社長
石田秀雄

「フアインプレーより堅実、
確実に」

昨年を振り返りますと、心を痛める問題が数多くありましたが、一方ではスポーツなどで日本の若い力が世界で大活躍する一年でもあったと思えます。日本が経済成長するためには、若い方々の力で企業が活性化することも必要ですので、弊社も中小企業の一員として貢献できればと考えています。私事ですが、昨年は約五〇年振りに映画館で映画鑑賞をしました。アクション映画が好きで、普段はテレビ鑑賞ですが、映画館に行きたい衝動に駆られた次第です。映画は、期待以上の作品で大満足でしたが、

それ以上に感銘を受けたのは映画館の雰囲気です。五〇年前の映画館と比べた訳ですから、その違いの大きさは皆様の想像を超えると思います。今年も見たい映画は映画館で鑑賞したいと思えます。二〇二三年も、お陰様で無事に終わることができました。昨年、弊社は創業以来の社屋改修工事を始め、事務所内のレイアウト変更など可能な範囲ではありますが社内の変更を進めさせていただきました。従業員の士気が高まり、更に業務に邁進してくれ、昨年を期待しています。そして、今年は阪神タイガースが三八年振りに優勝した事は、皆様の記憶にも新しい事だと思います。私は大変、喜んでおります。オリックスファン様、お許しください。さて、私は、昨年の阪神タイガース優勝要因は大スターよりも、全員で勝ちに行く本来の野球スタイルにあったと思います。

それを実現させた岡田監督の采配も素晴
らしかつたと思います。
恐らく、今の方々は自分に必要な情報を
入手することが巧いと思います。プライベ
ートで過ごす時間でもネットを検索して
趣味に活かし、仕事でも必要と感じた事を
検索して業務に活かすこともあるでしょう。
う。自然に努力して勉強しているように感
じます。実は、私は、社員を含め若い方に
感心しています。今の方は、ただ漠然と情
報を拾い集めるのではなく、何らかの目的
意識を持って行動している事に感心して
います。
会社の方向性は私を含めた幹部が示す
必要がありませんが、業務に関しては一方
な指導ではなく、お互いにコミュニケーション
を出すような関係性が求められていると思
います。
時代の流れで、仕事のやり方も変化して
います。商品を納めるだけでなく、企業の
在り方も問われる時代になりました。
弊社も、データや通信のセキュリティ強
化の為に必要な環境を整備しました。
納税協会など、地域の会合などでも DX
化を推進されています。世論では、様々な
意見が交わされていますが、経済発展の観

点からも決まった方向には可能な限り整
備を進めて行く所存です。取引会社様の皆
様のお役に立てるよう、引き続き取り組ん
で参ります。
今年もダイシングループは、社員全員が
それぞれの部門で切磋琢磨し、お得意先様
のご期待に添えるよう邁進していく所存
です。ご指導、ご鞭撻宜しくお願い申し上
げます。
健康、安全第一で今年も頑張っていきま
しょう。



月例研修会

第586回

令和五年二月四日

常

講師

務

取

締

役

石田正樹

「春日井事業部の現状と対策」

二〇二二年度も残す所あと2ヶ月程となり販売・利益・品質についてお話しいたします。

① 販売

累計達成率は大幅未達の予想です。原因としては提案力不足等が挙げられます。

課題は大ロット物件の受注です。日頃のお客様のご要望を的確にお聞きすることと、お客様のご要望を想定したご提案の強化など、内容の充実とスピード感を持って臨みたいと思います。

今後は従来品で条件変更によりお客様が納得頂

ける提案をして行き、来期計画達成を目指します。三年前のコロナ過により対面営業からリモートによる営業、リモート会議へ、オフィスワークからテレワークへと時代が変わりました。現在はコロナ過も落ち着き、少しずつですが対面営業へと戻りつつあります。キーマンとなる方との人間関係の構築を改めて行い売上増に努めて行きます。

② 利益

累計達成率は未達の予想です。原因としては、当初の販売戦略が予定どおりに進まない事と、変化に対応する軌道修正の方法にあると思います。

今後は業界の価格動向を見ながら的確な戦略実行と改善を繰り返し、提案営業、改善活動を推進し

利益改善を図って行きます。

③ 品質

計画は0件/月ですが、現状未達でございます。品質、納期は、問題なしが当たり前ですが、残念ながら発生しています。新規品見積にも影響が出てきますので仕入先様とのコミュニケーションを密に図り、品質問題、改善課題を共有し、品質問題を起こさない体系強化を図っていきます。

クレーム発生時、現場確認・お客様へ謝罪と対策報告を行い、再発防止に取組みます。

品質パトロール（巡回訪問）を毎月行い事前防止に努めて行きます。お客様での検査体制が年々変わりつつあります。一部のお客様では、ISO9001等取得されている御会社様、取得されていない御会社様に区別して、納入時検査・無検査実施に取り組みれております。当面は受入チェックを行い良品一〇〇%でお客様へ納品出来る様実施します。

今後は受入チェックを減らし仕入先様にて引き続き検査、品質レベルを上げて頂く様体制を作って

参ります。

春日井事業部の課題は、国内外の情勢、経済など幅広い視野から対策、解決へ導く方向性を得る必要があると感じています。

動向を把握し業界自体もどのように動くのか常に目を光らせ仕入先様とも情報共有図って行きます。お客様の如何なるご要望にも誠実にお答えし、安心・安定・感動を与えられる様、来期計画達成を目指して参ります。



月例研修会

第587回

令和五年三月四日 常務

講師

宮地信隆 取締役

「今期の反省と来期の抱負」

早いもので本年度(2022年度)も決算月を迎えております。さて、ダイシングループの本年度の見込みですが、

ダイシン株式会社

●売上高 計画比…未達(前年比…増)

●利益 計画比…未達(前年比…増)

阪神紙器工業(弊社八尾工場)

●売上高 計画比…達成(前年比…微減)

●利益 計画比…未達(前年比…微減)

との結果に終わりそうです。

2022年度の収支に関して振り返ると、スタートは順調でしたがオミクロン株の感染拡大に合わせるように7月、8月は主要お得意様での生産減により非常に厳しい2カ月となりました。9月以降は若干持ち

直しましたが月ごとでムラがあり、先が読みにくい状況が現在も続いております。ただ、紆余曲折はありましたが今年度は先程申し上げた通りのまずまずの結果で終えることができそうです。一方で今年度の最大のトピックスは原材料及びエネルギー、人件費などの価格高騰による製品値上げです。昨年度(2021年度)の下期より樹脂製品の値上げが打ち出され、本年度(2022年度)の春には段ボール製品の値上げが打ち出されました。そしてそれに続き夏ごろからは樹脂製品の二次値上げが打ち出されました。現在は段ボール製品の似値上げに取り組んでいる最中です。

本年度の実績に話を戻しますが、品質実績は、

●2月現在 不良発生件数…50件

前年同月は26件でしたので2倍近くに増加しております。内訳ですが

・大阪販売部 …14件(前年同月15件)

- ・春日井事業部… 36件（前年同月11件）
- ・阪神紙器工業… 2件（前年同月 7件）

本社販売は前年より1件減となっております。自社工場である阪神紙器工業の不良件数が2件と前年より大幅に減少しております。一方、前年0件であったある仕入先が本年度は8件と大幅に増えております。内容としては印刷不良が多く発生しており、臨時で巡回チェックによる対策の確認を行いました。この2カ月は発生しておりませんが来期も引き続きこの仕入先の巡回チェックを実施する予定です。阪神紙器工業ですが4年前までは常に10件以上の品質不良を発生させておりましたが以降一桁台減少し、本年度は2件のみと着実に改善しております。7年前までは軽微な不良（少量の不良や破損や汚れ等）は対策書を発行しておりませんでした。不良件数が下げ止まっていたため軽微な不良も対策書を発行し、原因・対策を検討するようにしました。これにより他の商品へのフィードバックがされるようになり、それ併せるように作業者の意識も変化していったように感じております。日々の見直しの結果が本年度成果となって表れたと思っております。来年度も油断することなく引き続き日々の改善をお願いします。

さて、春日井事業部については前年の約3倍の不良件数となりました。これは本年度より数量の過不足に対し

ても対策書を発行するようにしたためです。この結果より来年度、春日井事業部では数量過不足の撲滅を課題として取り組む必要があります。次に本年度掲げた重点課題に対する進捗及び結果についてコメントします。

① 業務システムの見直し

前期を終えた段階での報告と同様、商品値上げによる価格改定作業に追われ計画より遅れております。ただ、遅れてはいるものの少しずつ改善されております。

② 商品ごとの原価分析及び合理化検討

こちらも前半期同様、お客様に価格改定のお願いするにあたり原価分析を行いました。価格交渉に精いっぱいのため合理化提案を実施できておりません。

③ 外注先への巡回チェック

ほぼ計画通り巡回チェックを実施しましたが全体的には減少したのですが特定の仕入先が大幅に増加したため来年度はその仕入先の巡回チェックを重点的に実施していきます。

この3点の重点課題についてはスライドし来年度も同じ内容にて取り組んでいきます。

来年度も一丸となって頑張りましょう！



月例研修会

第588回

令和五年四月八日

講師

販売部長

石田 哲也

「モチベーション維持」

去年のウルトラマラソン中止発表以来、ほとんど走っていない私ですが神戸マラソン・大阪マラソンを何とか完走、というか完歩しました。42キロってこんなに長かった？というのが正直な感想です。週4日以上は走っていた私ですが、なぜここまで走らなくなったのか？やる気が出ないのか？そんな事を考えて今回のテーマとしました。

10年ほど前に遡りますが、当時ダイエット目的でランニングを始めましたが、ただ走るだけでは楽しくないので目標を立てるべく、大会にエントリーします。5キロの大会から始めて徐々に距離を伸ばし、現在60キロまでの大会を完走しています。ある

程度走れるようになってきますと今度は記録を狙っていきます。確か初フルマラソンは5:50位でしたが、今は4:17まで来えます。4時間切りまであと17分です。たかが17分ですが、キロペースで換算するとだいたい25秒縮めないとダメです。感覚的に25秒って簡単総そうじゃないですか？これが難しいのです。さて、モチベーションってやる気、意欲、動機付けの事ですが、あと優先順位も関係しているのかと思います。私の場合、朝走る時間帯に家族は誰も起きていなかったのですが娘が早起きになってしまい朝から「お店屋さんごっこ」とか「おままごと」のお付き合いがあり、朝走ることよりも娘と遊ぶことの方に優先順位が高くなったのかもしれない。また、キャンプにハマってしまい、ランニンググッズよりもキャンプグッズを買う方向になってしまいました。誘惑が多いと本来やるべき事のモチベーションが下がってしまうようです。

仕事ではどうかと言う事で今日お話しするのに色々読み漁っていた中で気になる記事があったので紹介したいと思います。

◆仕事のモチベーションが消える時

- ・コンディションが悪い。心身の調子は仕事のやる気に直結。
- ・予定が狂う イライラ 急に用事頼まれる。
- ・評価されない 成功体験がない。
- ・公開処刑 ミスにつきもの。
- ・人間関係 自分と合わない、苦手意識、報連相しにくい。仕事のスムーズに行かない。

◆仕事のモチベーションが上がる時

- ・人間関係 信頼おける仲間上司。
- ・収入が上がる 評価されている証。
- ・職場環境 働く場所。
- ・裁量がある 一定量の経験があれば独り立ちさせる。

話を纏めますが、私が考えるモチベーション維持について、自分の考え方次第で解決できる事と外部環境で影響を受けることの2つがあると思います。自分発では大目的ではなくて小目的をたくさん作っておき、成功体験を多く得る事。外部環境は転職しない限りは自分では変えることができないので周囲の上司、仲間との信頼関係を築いていく事、そして成功体験をたくさん与えてあ

げる事が大切だし、それによつて会社全体のモチベーションが上がっていくと思います。

前期よりも今期は厳しい状況になるかもしれませんが、あまりマイナスな事を考えていても仕方ないので前向きで建設的な話をしてみんなで頑張っていきましょう。



月例研修会

第589回

令和五年五月一三日 総務部長

講師

碧山純子

純子

「涵養に努めましょう」

ゴールデンウィーク初日、ピアノの発表会に参加していました。

参加者は、先輩ピアノ教室の生徒さん、年代は様々です。

発表会は二年に一度の開催で、皆さんと久しぶりの再会を喜び楽しい時間を過ごしました。

ピアノ歴、数十年でも舞台上上がると手が震え、足もガクガク、間違えて止まって会場も静まり返る演奏でした。毎回、こうならないように、準備を重ねるつもりが本番で撃沈です。

しかし、演奏後は気持ちは落ち込むどころか晴々。さあ、次は何弾こう？と他の出演者の方々と談笑です。

これが、楽しい。大人も子供も、舞台上で失敗しても「あかんかったわ」と言いながら、これまでの努力に充実感を満喫しているんだと思います。さて、涵養に努めましょうというタイトルですが、涵養の意味は自然にしみ込むように養成する事です。

育成と似た感じですが、少し違います。育成は、できない事をできるようにする、立派に育てるという目先の事を指す意味合いですが、人格の涵養に努める、徳性に涵養するなどその人の土台に影響を与える事に時間をかけて行う事です。最初にお話した、ピアノの発表会で、あかんかったわ」と言いながらも、お世話になった先生方、この場に来った出演者、家族、ホールスタッフの皆さんに感謝する気持ちは、涵養に努める心の現れだと思えます。

会社での人材育成も、本来は仕事を教えて役に立ってもらう事が私たち先輩社員の役割で、勤務態度やその他の素養に対する教育は、先輩社員の度量に任される事が大半でしたが、今は、多様性の観点から人への接し方も許容範囲が広がり、同じ接し方では、お互いに難しく感じる場面が増えてきました。

業況的に、景気の上下はありますが、わが社の仕事量は梱包資材が必ずとされない限り、無くなることはありません。生産体制を人、もの、資金、情報で支えていますので、今回は人をクローズアップしています。会社の将来を見据えると、求人難の課題は、収益に影響していないからと言って、放置する問題ではないと考えています。

社長のお考えで、社員皆さんの人件費は費用ではなく、投資だと捉えるならば、その確保に要する費用も投資の一環だと解釈させていただき、求人媒体を民間企業に広げました。

民間媒体、ハローワーク、シルバー人材センターを活用し、求職者の目に留まるまで、継続して発信する一方で、年齢、国籍を問わない人材も活用できる仕組み作りにも取り組んでいかなければならないと感じ

ています。

システム導入や、作業動線の見直しを今後も加速させて易しい職場づくりを進めながら、多様な方を受け入れる私たち、先輩社員の心の準備も情報提供などで、進めて行きたいです。

今回のテーマに選んだ涵養に努めるという言葉は、人によっては必要に思わないと感じるかもしれませんが、私は、今後の多様性を想定して、人材育成という相手のある事には涵養に努める気持ちは欠かせない素養であると考えています。

人付き合いが、好きな人も苦手な人も、会社生活では避けては通れないものです。

多様性を含んだ職場を活気のある場所にする為にも、人付き合いには正解を一つに決めない、柔軟な気持ちで今後も邁進させていただきます。



月例研修会

第590回

令和五年六月十日

総務

講師

小課長
山正之

「性善説と性悪説」

昨今では、やれ政治家の汚職であったり、やれ企業のコンプライアンス違反であったり、はたまた一般人であっても制度の悪用や濫用だったり、さまざまな諸問題が取り沙汰されるたびにテレビや新聞、インターネットなどの各種メディアなどで「性善説で考えるからよくない、性悪説で物事を考えるべきだ」という論調がしきりに見られるようになりました。しかし、実はこの「性善説」も「性悪説」も、前提こそ異なれど結論としてはさほど違いがないことをご存じでしょうか。

性善説は古代中国の儒学者である孟子（もうし）が提唱しました。その名の通り「人間は生まれ持って善の性質を持つ」と

いう意味ですが、これは王者が徳をもって世を治める「徳治主義」という儒教における基本思想において、その「徳」の源泉である善性を人が生まれながらに持つのは自然の摂理であるという考え方でした。その一方で、孟子は「正しく徳を学ばせなければ人間はたやすく悪に染まる」とも警告しており、生後の教育や環境の重要性も説き、人間の善性を完全に妄信しているわけではありませんでした。

かたや性悪説は、荀子（じゆんし）が孟子に対する批判として提唱しました（荀子は孟子のみならず当代の儒学者の多くを「孔子の教えを捻じ曲げた形で説くまがい物である」として批判的な態度をとっていました）。本当に人間の本性が善であるならば王者が徳を示さずとも世は自然に治まるはずだとして性善説を否定、「人間が本性であり悪である」としました。ただし人間の善性を完全に否定してはならず、

「人の善性は作為によって作られる」、つまり本質が悪だからこそ先人によって築かれた「礼」を学び実践することで、善性を持つ人間としての本分を全うすべきだという「礼治主義」を説きました。

つまり、性善説にしても性悪説にしても「先天的な人間の本質が善であるか悪であるかに関わらず」人が悪の性質を持つた性質に導くことが大事である」ということを説いている点では同じであり、現代の人々が性善説や性悪説に対するイメージとして抱く

○性善説…人の善性を妄信し、人の悪意やそれを疑うことを否定したり薄情だと蔑むような考え方 ↓ 現代では甘すぎ

●性悪説…人の悪意を疑うことを前提とし、人の善性やそれを信じる心を否定したり小馬鹿にするような考え方 ↓ 一見厳しいように見えるが現代においては現実的で正しい認識

というような、白と黒の両極端で断ずる考え方はまるっきり間違いとまでは言えな

いにはしても、いきさか本来の意味から脱線した極端な捉え方ではないでしょうか。

もちろん、言葉は生き物でありますので時代時代によってその解釈に変化があらわれても致し方のない面もあるかとは思いますが、時にはその言葉の原点に立ち返ってみることでよりその言葉に深みを持たせるのも大事なのではないかと思います。調べてみた次第です。

（余談ながら、「人間の善性に期待できないからこそ法律というシステムの中で違反者に罰則を課すことで統制すべき」というのが昨今「性悪説」を論ずる際に続いてよく挙がる考え方、いわゆる「法治主義」です。古代中国でのその初期の提唱者の韓非子（かんびし）は荀子に師事していたことがあったとされており、まさに性悪説から派生して生まれた思想だと言えます。ただその一方で韓非子も、元々は「成果や能力に褒賞で報いるよう法律を整備して、臣下を利益によって統制しよう」という考え方であり、刑罰による統制を前提としてはいませんでした。師と同様に韓非子もまた人間の善性を完全否定してはいなかった、と言えるのではないのでしょうか）



月例研修会

第591回

令和五年七月八日

八

講師
尾工場 長
吉越 康

「免疫力を高める」

今回、このテーマを選んだ理由ですが、私は今年四九歳になりますが、最近二〇代、三〇代の時のようには溜まった疲れがすぐには全然取れない気がしています。基本、デスクワークよりも体を動かす仕事の方が好きで、これからもそうしたいと思っが、以前よりも自分の体の調子やメンテナン스에興味を持ってきています。また、会社でも大体、同世代の方が多いので、この情報を皆さんと共有出来たら良いなと思います。このテーマを選びました。先ず、免疫力とは、疫（病気）を免れる力の事です。そして、この力を高めることによつて、疲れません。病気になる体を作ることが出来ません。ちなみに疲れない体とは、疲れをためない体です。ただ、疲れを回復するタイプの事が二つあります。

一つは交感神経が優位になったことによる疲れを感じやすい人。わかりやすく言うと、「忙しすぎていつも疲れているタイプ」です。もう一つは副交感神経優位による疲れを感じることが多い人。こちらでもわかりやすく言うと、「リラクセスしすぎて体の機能が低下し、すぐに疲れがでるタイプ」です。そして、この交感神経と副交感神経を併せて自律神経と言います。自律神経とは人の活動と休息に合わせて、体の各組織を無意識のうち調整している神経の事です。交感神経は主に昼間働き、元気がつらつ、やる気満々の状態を作り出す神経です。一方、副交感神経は主に夕方から夜にかけて働き、ゆったり気分、リラクセスの状態を作り出す神経です。イメージとしては、この二つの神経は、体の中でシーソーの様にバランスを取っていて、要はこのバランスが取れている時は、生活にメリハリがつき体調も良いという訳です。作るためには、免疫力を高め、疲れない体を作るためには、知っておくと良い事、また日常

生活ですぐに実行出来ることを何点か紹介します。まず一つ目は「体を温める」です。疲れ、病気の元をたどると必ず低体温に行き着くそうです。脇の下で測定して36.4度、これが病気になる理想の体温だそうです。ちなみにシャワーより入浴の方が良いそうですが、湯温は体温プラス4度、40度か41度が疲れのドツサリ取れる温度だそうです。みなさんのお宅ではいかがでしょう。みなさんのお宅ではいかに「三〇分早く寝る」です。特に四〇代以降は、これを守らないと病気になるリスクが高まるそう。私は、寝ながら三〇分程スマホでユーチューブなどを見てしまうので、これをやめれば良いという事ですよ。ちなみに仰向けで大字に寝るのが理想だそうです。で、三つ目は「一日に三回爪を揉んでみる」です。親指から順に一〇秒間揉むだけでいいそうです。私は、通勤中、電車でよくやっています。結構クセになつてきました。続けていると疲れが取れたように感じるので不思議ですよ。

四つ目は「笑いは免疫力を高める特効薬」です。そういえばここ一年位笑った事がない、癌を患った方と話す時、そういう人が少なくないそうです。笑いは副交感神経を優位にして、免疫細胞を活性化させるそうです。つまり、体温も上がり代謝が良くなる事で疲れも取れやすくなるそうです。今はユーチューブなどでも漫才やコントなど気軽に見られるので私もよく見ています。みなさんも休日などは特にリラックスして笑う事を増やしていきたいでしょう。場が忙しなかった事もあり、食事、睡眠などが、どうしても不規則になりました。これを何とか月も続けていけば、どんなタフな人でも必ず体のどこかにし寄せがくると思います。今回、丁度この忙しい時期のタイミングでの発表だったので、テーマについて考える事で、改めて健康の大切さ、大事さに気が付けた事は良かったなと思います。これからは暑いです、暑くても意識して行動する事で仕事も以前よりも楽しんで乗り切っていきたいと思えます。



月例研修会

第592回

令和五年八月五日

常

講師

石 取

田 締 役

正

樹

「春日井事業部の対策と効果」

二〇二三年度がスタートしまして四ヶ月が経ちました。販売につきましては計画未達、利益につきましては計画ほぼ未達の状況でございます。特に販売ですが前回二月頃のお話から対策に取り組みましたが相変わらず目先の仕事に追われ肝心な営業活動が疎かになっているのが現状でございます。私は目先の仕事に追われる二時間に追われている事をふと思いました。一日二四時間しかない中で何かもつと時間をうまく使えないか？改善出来ないか？ある本に出会いました。星渉さんの「神時間力」です。色々厳しい事が書いてありました。目標なき人生の時間経過は前進では無く漂流である。あなたは人生の残りある時間をどう生きるのか？人生の時間とは自分の命の残り時間である。人間いつかは亡くなる生き物です。後悔しない様に

時間を大切に熟して行きたいと思えます。

以下の事についてお話したいと思います。

- ① 人生とは時間の投資である
- ② 頭の良い人の時間の使い方
- ③ シンプルな優先順位のつけ方
- ④ 学校では教えてくれない人生の公式
- ⑤ 気になったメモで時間が増える
- ⑥ 残された時間の使い方

① 人生とは時間の投資である

私達には毎日二四時間という時間を与えられています。この時間を何に使っているのか？何に投資しているのか？さらには投資するからには何らかの結果を得たい物です。こう考えると時間に関する感覚が変わってきます。無駄な仕事があれば改善し利益を得たい物です。

② 頭の良い人の時間の使い方

得たい結果が明確であればそこから逆算してどのよ

うな準備をすれば良いか明確になります。いつまでに何をするか数字で行動する人が頭の良い人の時間の使い方になります。私も参考にします。

③ シンプルな優先順位のつけ方

やりたい事だけでは無く、仕事やプライベートなどでやらないと行けない事がたくさんあって、どう優先順位をつけていいのかわからない中で今の現代人ほとんどの方が悩んでいる事と思います。本の中では、今目先はどこを目指しているのか？今優先してやる事、今本当に得たい結果が得られる物を考え行動する。身近な人と相談する等して質を上げて行きたいです。

④ 学校では教えてくれない人生の公式

得られる結果(ゴール)＝投資した時間×行動レベル
行動レベルとは生産性(やり方・方法)の高さを言います。ある資料を作成するのに私は八時間掛かったが別の人にやらせたら四時間で完成しました。私は投資時間八時間・行動レベル一に対し別の人は投資時間四時間・行動レベル二になります。行動レベル二について聞いた所以前から自己投資で資料作成のセミナーを定時後通っていて、それが役に立ったとの事です。私も参考にしたいと思います。

⑤ 気になったメモで時間が増える

日々仕事をしていきますと突発的に用事を頼まれたり、人に用事をお願いしたり等あります。これが増えてきますと人間は忘れる生き物なのでメモで記入しておくます。忘れてしまえますと迷惑を掛け時間の浪費に繋がります。急ぎ物・急ぎでない物を常に見極め時間を有効活用したいものです。

⑥ 残された時間の使い方

神時間力とは真剣に命の残り時間を考える力。一日の生活の中で大きく三つに分けられます。睡眠時間・プライベート(休暇)時間・労働時間です。この年になりますと労働時間が大半を占めます。日々何が大事かを考え今期計画達成に向け、時間を大切に人生を過ぎたいと思います。

以上、春日井事業部の対策と効果という題での発表ですが、今後の方向性を練り直す為に、違う視点での発表とさせていただきます。九月の中間決算を通過し、今期の達成感を想定して日々の研鑽を積んでまいります。



月例研修会

第593回

令和五年九月九日

講師
常務取締役

宮地信隆

「前半期を終えて」

研修会にあたり、昨年はどのような話をしたのかと思いを振り返りました。昨上期は半導体不足が少し解消され受注も増加傾向でした。一方で各商品の値上げがあり、仕入交渉やお客様へのお願いに忙殺されていると書いておりました。昨年度の上期と比較し、本年度（2023年度）の上期（中間決算）の見込み及び下期の展望についてお話ししていきます。まず、売上、利益の実績見込みですが

ダイシン株式会社

●売上高 計画比…未達（前年比…減）

●利益 計画比…未達（前年比…減）

阪神紙器工業（弊社八尾工場）

●売上高 計画比…達成（前年比…大幅増）

ダイシンですが上期は売上が低調です。数字的には微減ですが昨年の値上げ分を考えると厳しい状況です。利益につきましても厳しい内容です。昨年の価格改定において材料改定分はすべて反映いただきましたがエネルギーや人件費上昇分についてはなかなか厳しい結果となつたことによるものです。一方、阪神紙器工業において上期は非常に好調です。スポットではありますが大きな新規受注が数点ありましたので売上は計画を大幅に上回りました。ただ、利益については材料費やその他経費の高騰により伸び悩みました。

次に品質ですが、

●8月現在 不良発生件数…16件

前年同月は14件でしたの2件増加しております。

内訳は

・大阪販売部 … 5件（前年同月9件）

・春日井事業部… 11件（前年同月5件）

・阪神紙器工業… 3件（前年同月2件）

大阪販売部は前年に対し4件減少、春日井事業部は6件増加しております。春日井事業部では昨年より員数過不足にも対策書を発行しており、それによる増加もありますがその他の不良も2件増加しております。このような状況に対し8月後半には私も同行し、春日井事業部の仕入先に巡回チェックを実施しました。下期は不良発生ゼロを目指し巡回チェックの頻度を上げていく予定です。

続いて、重点課題についての進捗状況ですが、

① 業務システムの立ち上げと業務効率化

当初の計画からは1年近く遅れましたが上期には完了、下期からは新たなシステムを運用していく予定です。

② 商品ごとの原価分析及び合理化検討

昨年は値上げ交渉に迫われ合理化提案がほとんどできておりませんでしたので今年度はお客様への提案を課題としてきました。結果、提案（梱包設計）により大きな受注をいただきました。ただ、件数は少ないので下期は提案件数を上げていきたいと考えています。

③ 外注先への巡回チェック

上期は計画通り巡回チェックを実施できており、大阪販売部では成果がでております。一方、春日井事業部は残念ながら不良件数が増加しておりますので下期は春日井事業部の巡回チェックの頻度を増やし改善を図っていきます。

さて、先程の重点課題に加え下期においては「人材確保」と「設備導入」に取り組んでいきます。

コロナがあつたことでもあるのですが現在、新規開拓ができておりません。コロナも第5類となりましたので新規開拓を行い、また既存のお客様に対しても積極的なアプローチをしていきたいのですがそのためには人材の確保が必須です。現在、新卒採用、中途採用それぞれで活動しております。新卒では何名かの応募をいただいております、会社説明や面接を行っております。

また、設備につきましては補助金の公示がありますのでコンサルの方に助言をいただきながら10月初旬の締め切りに間に合うように応募資料を作成しております。結果については年末年始頃に発表がありますが良い報告を期待しています。

上期については厳しい状況です。下期についても不透明な状況ではありますが期待できる情報も聞いております。来年3月の研修会では良い報告ができるよう共に頑張りましょう。



月例研修会

第594回

令和五年一〇月七日

講師
三好 長城
税理士

「税に対する向き合い方」

1. はじめに

「税金とは、共同社会で生きていくための会費の
ようなものである。」

税理士である父からそう教えられて育った私は、
学生時代にほんの出来心で受けた国家公務員試験
にたまたま合格したため、それから約三〇年間、国
税の職場において、父とは異なる立場で税務の仕
事をしてきました。今回は、私自身が国税局や税務署
での勤務経験で感じた税に対する向き合い方につ
いて、お話しさせていただきます。

2. 適正な税務申告と企業経営

私たちの身の回りには、様々な種類の税金があり
ますが、日本の税制の根幹は「申告納税制度」です。
事業者の申告所得税や法人税などは、納める税額を
自ら申告するため、納税者の税に対する認識が納税
額に影響します。事業を継続し発展させていくため
には、合法的な節税対策はとても重要ですが、節税

も一線を越えると所得隠しになり、度が過ぎると脱
税になります。適正な申告・納税を行わない場合、
企業はどのようなようになっていく可能性があるか、私が
国税局や税務署で見てきた典型的な事例を紹介し
ます。

まず、中小企業では、経営者が税務署にバレない
ように税金を免れる方法を考え始めると、その準備
や工作に神経を使うがあまり、本来の事業に費やす
時間が減少してしまいます。節約意識が過剰になる
と、税金面だけに止まらず、従業員の給料や福利厚
生、設備投資、更には本業の原価や経費に至るまで、
考え得るあらゆる支出を少しでも抑制しようとし
がちです。しかしながら、そのような経営者の姿勢
は、従業員にもすぐ見抜かれてしまい、その結果、
従業員が税務署に通報し、税務調査で多額の追徴課
税処分を受けて、重加算税など本来必要のない負担
を強いられることになり、ひどい場合は脱税犯とし
て刑事告発されることもあります。

また、同族経営ではないある程度の規模の法人の
場合、適正な申告・納税などのコンプライアンス（法
令等遵守）意識の欠如は組織の内部統制の低下につ

ながら、当然ながらそのような企業の中では愛社精神は醸成されず、高い士気を持って意欲的に働く従業員は育ちません。そのような企業では、従業員の内部告発によって不正が明るみに出たり、商品の品質やサービスの低下が原因で得意先からの信用が失墜し、業績悪化によって倒産したり他の企業に買収されたりすることが多く見受けられます。ちなみに、私が国税局勤務時代に調査を担当した大手企業のうち、コンプライアンスに対する意識が低く、調査にも非協力的だと感じた法人の多くは、時代の流れとともに淘汰され、逆に内部統制がしっかりしており調査にも協力的であった企業は、今でもその業界で確かな存在感を放っています。

俗に、コンプライアンスと事業の推進は車の両輪であると言われています。目先の納税額を何とかして低く抑えようとすることに過剰な力を注ぐよりも、適正な申告・納税で社会と共存していくことが健全な企業経営の基本であると私は確信しています。

3・貴社の税に向き合う姿勢

大阪国税局の管内には、税務署の管轄ごとに、納税協会という団体が存在しています。納税協会とは、税知識の普及に努め、適正な申告納税の推進と納税道義の高揚を図ることを目的とする健全な納税者によって組織されている公益社団法人で、税務当局からも、その存在意義は非常に高いものとして位置付けられています。

貴社の石田清和喜会長は、長年にわたり東住吉納

税協会の副会長として協会の発展に多大な貢献され、円滑な税務行政の実現に惜しみない協力を行ってこられました。そして現在は、清和喜会長の思いを引き継がれた石田秀雄社長と碧山部長のお二人が、理事として納税協会の事業運営や地域の子どもたちへの租税教育などにご尽力されておられます。

また貴社は、優良申告法人の集まりである優良法人会の会員企業でもあり、石田秀雄社長はその会の幹事を務めておられます。優良申告法人とは、税務署が所管する中小企業のうち、「申告納税制度の趣旨に即した適正な申告と納税を継続し、他の納税者の模範としてふさわしいと認められる」として、税務署長から表敬を受けた実績のある法人のことで、税務当局の審査基準は非常に厳しく、その数は全法人数の1パーセントにも満たないごく僅かなものとなっています。貴社はこの厳格な基準をクリアされ、過去に何度も東住吉税務署長から表敬状の贈呈を受けておられますが、税界では、これは大変栄誉なことであり、優良法人会の会員であることは、地域企業の模範となるリーダー的な存在の証であると言えます。

私は、元国税職員として、石田清和喜会長並び石田秀雄社長をはじめとする貴社のこれまでの功績と税に向き合う姿勢に深く敬意を表するとともに、貴社の顧問税理士として、今後貴社グループの更なるご発展と事業の益々のご繁栄のお力になれるよう、その役割を精一杯果たしてまいりたいと思います。



月例研修会

第595回

令和五年一月一日

講師

販売部長

石田哲也

「日常にメリハリをつける」

今回のテーマ選定理由ですが、自分自身の体験となりますがこのコロナ禍で仕事も仕事外でも外に出て何か行動することが極端に減ってしまつて、コロナ前と比べると何となくダラダラした感じになつているなど感じる事があります。その感覚を無くそうと思ひこのテーマとしました。メリハリとは言葉通り緩むことと張ること、強弱をつける事、またその差がはっきりしている事です。もうちよつときつい目のニュアンスで言うところのメリハリは区別してしまふ事になります。メリハリ上手は生き方上手みたいな言われ方もありますが私はどちらかというと緩んでいるタイプだと思ひますが、逆に張りっぱなしという方もいらっしゃると思います。性格の問題も大いにあると思ひます。と言う事でメリハリ上手になるために先ずは目標、目的が無いと駄目なので明日何をするのかを前もって前日に大目的、小目的を表示しておきましょう

う、そしてそれらに優先順位をつける、あとは実行のみです。大事な事は絵に描いた餅にならないように優先順位通りに実行に移すこと、やり方はわからなくても良いのでとにかく実行。出来なくでもOK、なぜできなかったのかを考える方が重要だと思います。その積み重ねが自分自身を強くして行けると思ひます。100%しつかり準備してから挑む方法もありますし、70%くらいの仕上りであえて挑む方法もあると思ひます。成功よりも失敗の方が多いいと思ひますが次に繋げれば全く問題なしです、失敗したからこそ学べる事の方がむしろ多いです。物事には周期(波)がある、良い時もあれば悪い時も。だから慌てずバタバタしない。実務でも競争が激化していますのでなかなか受注に繋げられることは出来ませんが、負けてばかりではダメなので勝ち戦できるように日々努力していきます。

先日とあるマラソンを走ってきました。結果は途中関門に引っかけたてしまい完走ならず。正直準備不足でスタートラインに立つことも辞めようと思ひていましたが走ってよかつたと思ひていますし、リベンジしたいと思ひていますが少々お金が掛かっ

てしまうので家族会議は必須です。

高知県にある四万十川沿いを走る100キロマラソンに参加しました、現地まで片道6時間半、とにかく遠かったです。当日はスタートが朝の5時半と早いので前日に前乗りしての車中泊、普段から小さな物音でも起きてしまうタイプなので、なかなか寝付けず睡眠不足。100キロを走るためには月間300キロは半年前から踏んでおかないといけないのですが半分も練習できず、でも奇跡が起きるかもしれないと思ってスタートラインに立ちました。が、実力以上のパワーは発揮できず。そもそも体内時間が追い付かず。2時半起床で朝ご飯を食べて、ほんとはトイレを済ませるのが理想ですが全く出ず。走り出してからお腹が痛くなるもトイレに行っても出ずの繰り返しで大幅時間ロス。フルマラソンの距離を過ぎたあたりで100キロ走り抜くイメージが全く湧かなくなり57キロ地点の関門で自主的にリタイアをしました。この経験を通じて思ったことはもちろん練習も必要ですが、メンタル、体調管理、綿密な計画性が必要、また頑張る場面は一生懸命やる、頑張らなくていい場面は緩める、頑張らなくていい場面です。逆に頑張ると失敗する。メリハリをつけることが大切だと痛感しました。初めての関門閉鎖を味わい、収容バスに乗ってゴール地点まで運んでもらう。途中頑張つて走っているランナーを眺めながら尊敬しあう時、あの場面の自分の行動を自問自答し、あー高い参加費、交通費もつたいないなとか、家族に文句言われると

か、でもボランティアの学生さん、地元の方々はリタイア組の我々収容バスに向かって「お疲れ様」と手を振ってくれるし「また来てよ」と声をかけてくれる事に一人ウルウル(涙)で来年絶対リベンジしてやろうと気持ちは前向きなのです。完走できれば地元グルメを堪能して帰る計画でしたがそんな贅沢は許されるわけもなくコンビニでおにぎりを食べ、早々に車を走らせ、無事自宅に着きました。

と、話は少し脱線しましたがメリハリとは言葉通り緩むことと張ること、強弱をつける事、またその差がはっきりしている事で、具体的には成り行きに任せることなく計画を立て、優先順位を付けて実行に結びつける、出来たことは素直に喜び、出来なかったことは次につなげる様に前を向く事を毎日繰り返し行うことで日常にメリハリがつくのではと思っています。



月例研修会

第596回

令和五年十二月一六日

岡西労務管理センター

講師

代表 岡西豊博

「安全は一人ひとりが責任者」

組織に属している一人ひとりが災害を防ぐために必要な知識や技術あるいは手法などについての能力を身に着けるほか、責任感を持つことが職場の労働災害を防ぎ、確かな安全目標成績を達成する条件となります。

わが身を守る心がけと共に、自分さえ安全なら他の人たちの安全には無関心といったやりっぱなしの無責任な考えを捨て、自らの行動には責任をもって周りで働く人たちの安全にも気を配りましょう。

そのためには作業の都合などから、安全装置や設備等を取り外した時は作業終了時は勿論のこと、休憩などで一時的にその現場を離れる時でも、元のように完全に復旧しておくか、或いは不安

定な状態だと知らない人たちがケガをしない様、ロープを張り、バリケードを置くなどの措置を怠ってはなりません。

もし危険な状態を発見したときは、責任者に確実に申し伝え、その報告を受けた担当者は直ちに災害に結びつかない様適切な措置をするのが職場の安全を守る基本となります。

「安全は一人ひとりが責任者」と言われるように、安全の担当者任せでは災害は絶対に防げないのです。

職場のみんなが自分の持ち場、立場で安全について能力を発揮するとともに、自ら責任感をもって、他の人たちにもケガをさせない作業をするのが災害を防ぐ基本です。

「多発する転倒災害」

ここ数年の労働災害(休業四日以上)の死傷者数を事故の類別に

見ると、転倒による災害が、墜落、転落災害や、はさまれ、巻き込まれ災害の件数を上回っています。

転倒災害は、機械、設備につまずく、材料・荷物につまずく、通路・床で滑る、階段で足を踏み外す、フォークリフトなどの動力運搬機に乗り降りの際足を滑る等で多く発生しています。これは高齢者の多い職場が増え、筋力が低下している高齢者による転倒災害が増えていることも原因の一つですが、その多くは職場の環境が大きく影響していると考えられています。適切な対策を行い、転倒防止を未然に防ぎましょう。

『職場の4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底する』

- 一、 整理 ↓ 必要な物と不要な物を区別。
不要な物は捨てる。
- 二、 整頓 ↓ 必要な物を決められた場所
(置き場所は安全と作業のしやすさに
配慮して決める)に配置する。
- 三、 清掃 ↓ 汚れやゴミを取り除く。
- 四、 清潔 ↓ 職場の清潔さを保つ。

『通路の安全を確保する』

安全通路や作業者がよく通る通路には、材料や荷物のはみ出し

が無いようにする。

『明るい照明にする』

曲がり角のある通路箇所、出入り口付近、階段や照度が不足している場所などは、明るい照明にする。

『床に段差がないようにする』

段差の解消ができないところは、ゆるやかなスロープを設けた
り、わかりやすい注意標識を掲げる。

安全は全てに優先することを心掛けましょう。

月例研修会一覧表

* 外部講師 (敬称略)

回	年月	テーマ	講師	回	年月	テーマ	講師
66	S.54.9	職場の第一人者に	大東工場長 北口清一	1	S48.9	段ボール原紙	営業部長 北村邦夫
67	S.54.10	安全管理と能率	伊丹工場長 西村為雄	2	S48.10	工程管理	八尾工場長 清水荘一郎
68	S.54.11	科学的な仕事の進め方	総務部長 清水荘一郎	3	S48.11	物流について	営業部次長 石田秀雄
69	S.54.12	災害防止・安全	* 合同労務社長 岡西豊博	4	S48.12	企業と人間関係	管理部長 嘉住利雄
70	S55.1	計画経営と問題解決	取締役社長 石田清和喜	5	S49.1	週2日制と能率	専務取締役 石田一二三
71	S55.2	伸びる社員	専務取締役 石田一二三	6	S49.2	生産と能率	伊丹工場長 西村為雄
72	S55.3	得意先の近況と動向	営業部長 石田秀雄	7	S49.3	我が社の計画と実行	取締役社長 石田清和喜
73	S55.4	この一年、次の一年	大東工場長 北口清一	8	S49.6	日本の紙パルプ産業	営業部長 北村邦夫
74	S55.5	仕事上のモノの考え方	* 三菱外注課長 杉本 勉	9	S49.7	自己啓発	八尾工場長 清水荘一郎
75	S55.6	効率的な仕事	伊丹工場長 西村為雄	10	S49.9	標準化と私	営業部次長 石田秀雄
76	S55.7	紙及び紙パルプ	総務部長 清水荘一郎	11	S49.10	企業と若者	管理部長 嘉住利雄
77	S55.8	激動の80年代	* 住友電工粉合 島 武	12	S49.11	会社への知識と行動	伊丹工場長 西村為雄
78	S55.9	自信を持つ	名古屋工場長 中瀬順一	13	S49.12	段ボールの知識	営業部長 北村邦夫
79	S55.10	安全と職場の健康管理	* 合同労務社長 岡西豊博	14	S50.1	原価について	八尾工場長 清水荘一郎
80	S55.11	松下精工の品質管理	松下駐在課長 花房宗清	15	S50.2	VE(原価分析)	営業部次長 石田秀雄
81	S55.12	病気と私(PART I)	常務取締役 嘉住利雄	16	S50.3	利益について	管理部長 嘉住利雄
82	S56.1	創立20周年を迎えて	取締役社長 石田清和喜	17	S50.4	経営理念	伊丹工場長 西村為雄
83	S56.2	原価に強くなろう	専務取締役 石田一二三	18	S50.5	企業の社会環境	営業部長 北村邦夫
84	S56.3	業界の市場占有率	営業部長 石田秀雄	19	S50.6	原価低減	八尾工場長 清水荘一郎
85	S56.4	私の健康回復法	常務取締役 嘉住利雄	20	S50.7	アイデアと勝負	営業部次長 石田秀雄
86	S56.6	作業時間と段取時間	伊丹工場長 西村為雄	21	S50.8	個人と組織	管理部長 嘉住利雄
87	S56.7	兵法とその学ぶところ	総務部長 清水荘一郎	22	S50.9	経費節減	伊丹工場長 西村為雄
88	S56.8	対人関係	名古屋工場長 中瀬順一	23	S50.10	強化段ボール	営業部長 北村邦夫
89	S56.9	発想の転換	* 三菱購買課長 今村 賢	24	S50.11	正しい仕事の進め方	八尾工場長 清水荘一郎
90	S56.10	健康の意義	営業部業務課長 花房宗清	25	S50.12	TS(標準時間)	営業部次長 石田秀雄
91	S56.11	安全を考える	* 合同労務社長 岡西豊博	26	S51.1	テープの種類と用途	管理部長 嘉住利雄
92	S56.12	全員一丸	八尾工場長 北口清一	27	S51.2	自己変革	伊丹工場長 西村為雄
93	S57.1	新たな出発と変革へ	取締役社長 石田清和喜	28	S51.3	命令と報告の方法	営業部長 北村邦夫
94	S57.2	包装概論	専務取締役 石田一二三	29	S51.4	ZD運動	八尾工場長 清水荘一郎
95	S57.3	私の営業活動について	営業部長 石田秀雄	30	S51.6	プロ意識	取締役社長 石田清和喜
96	S57.4	物の見方、考え方	* 松下製品審査室 寺西 稔	31	S51.7	VE(II)	営業部次長 石田秀雄
97	S57.5	計画立案の必要性	取締役 嘉住利雄	32	S51.9	高杉晋作	大東工場長 嘉住利雄
98	S57.6	実行力	伊丹工場長 西村為雄	33	S51.10	職場の安全対策	* 合同労務社長 岡西豊博
99	S57.7	続孫子の兵法	常務取締役 清水荘一郎	34	S51.12	生産と健康	伊丹工場長 西村為雄
100	S57.8	品質とコスト	松下技術課長 増田 幹 登	35	S52.1	今年度の計画経営	取締役社長 石田清和喜
101	S57.9	商業文	名古屋工場長 中瀬順一	36	S52.2	目標管理の要点	専務取締役 石田一二三
102	S57.10	病気とその原因	業務課長 花房宗清	37	S52.3	品質管理	八尾工場長 清水荘一郎
103	S57.11	災いのもたらすもの	* 合同労務社長 岡西豊博	38	S52.4	購買の見方考え方	* 住友電工粉合 島 武
104	S57.12	5Sマークの精神	八尾工場長 北口清一	39	S52.5	購買の実践5訓	営業部長 石田秀雄
105	S58.1	TQCと我が社の態度	取締役社長 石田清和喜	40	S52.6	自己診断の急售	大東工場長 嘉住利雄
106	S58.2	大阪の今昔と承認	専務取締役 石田一二三	41	S52.7	能力と能率	伊丹工場長 西村為雄
107	S58.3	TQCとは何か	常務取締役 石田秀雄	42	S52.8	組織と人間	* 近畿大学講師 西窪重良兵衛
108	S58.4	TQC総合的品質管理	* 松下製品審査室 寺西 稔	43	S52.9	損益分岐点	専務取締役 石田一二三
109	S58.5	TQCについて私見	取締役 嘉住利雄	44	S52.10	損益分岐点(II)	八尾工場長 清水荘一郎
110	S58.6	積水化成製品紹介	* 積水化成部長 西浦 功 造	45	S52.11	業界と有力得意先	営業部長 石田秀雄
110	S58.6	発泡ポリエチレン概要	* 一村産業次長 門 脇 三	46	S53.1	今年度我が社の計画	取締役社長 石田清和喜
111	S58.7	技術管理	大東工場長 西村為雄	47	S53.2	品質について	* 松下資材主任 篠原 功
112	S58.8	TQCのねらいは	総務部長 清水荘一郎	48	S53.3	自己分析	八尾工場長 嘉住利雄
113	S58.9	TQCの7つ道具	名古屋工場長 中瀬順一	49	S53.4	労働災害の実態	伊丹工場長 西村為雄
114	S58.10	肥満と病気	業務課長 花房宗清	50	S53.5	理解と信頼	大東工場長 清水荘一郎
115	S58.11	安全と健康管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	51	S53.6	組織と人間(II)	* 近畿大学講師 西窪重良兵衛
116	S58.12	理解と実行	八尾工場長 北口清一	52	S53.7	包容力と統率力	専務取締役 石田一二三
117	S59.1	段ボールの包装雑感	取締役社長 石田清和喜	53	S53.8	アウトタイプの人	営業部長 石田秀雄
118	S59.2	実力主義の自己啓発	専務取締役 石田一二三	54	S53.9	大きい人間	八尾工場長 嘉住利雄
119	S59.3	有力得意先の近況など	常務取締役 石田秀雄	55	S53.10	企業は人	業務課長 北口清一
120	S59.4	成功へのポイント	取締役 嘉住利雄	56	S53.11	銀行からみた企業と人	* 住友銀行支店長 木田 一 夫
121	S59.5	技術新時代について	* 三菱管球次長 清水 義 樹	57	S53.12	大阪商法の強みとは何か	* 大陽紙業副社長 蟹江 良 三
122	S59.6	段ボールについて	大東工場長 西村為雄	58	S54.1	基本態度と今年の計画	取締役社長 石田清和喜
123	S59.7	原価の中の経費と課題	総務部長 清水荘一郎	59	S54.2	製造意識	伊丹工場長 西村為雄
124	S59.8	企業内教育について	* 住友製品課長 草村 哲 也	60	S54.3	勝負をきめる付加価値	総務部長 清水荘一郎
125	S59.9	エレメントによる学習	名古屋工場長 中瀬順一	61	S54.4	原価低減	* 松下事業部長 木山 栄 二
126	S59.10	からだの雑学	業務課長 花房宗清	62	S54.5	企業繁栄の三つの鍵	専務取締役 石田一二三
127	S59.11	安全管理の定着化	* 岡西労務代表 岡西豊博	63	S54.6	三菱財閥	営業部長 石田秀雄
128	S59.12	日常の点検項目	八尾工場長 北口清一	64	S54.7	ゆきづまりの解決法	八尾工場長 嘉住利雄
129	S60.1	変革する社会と業界	取締役社長 石田清和喜	65	S54.8	仕事への情熱	* 松下事業部長 片岡 康 晃

月例研修会一覧表

(敬称略)

回	年月	テーマ	講師	回	年月	テーマ	講師
191	H2.3	いつまでも若くはない	製造部長 北口清一	130	S60.2	企業は永遠か	専務取締役 石田一二三
192	H2.4	企業人としての知識②	営業部次長 堀剛郎	131	S60.3	ランチェスターの法則	常務取締役 石田秀雄
193	H2.5	数学	大東工場長 西村為雄	132	S60.4	社員の活性化	* 三菱銀行副所長 中島正昭
194	H2.6	現状認識と物の考え方	* 精工電機社長 北村四郎	133	S60.5	仕事への姿勢	監査役 嘉住利雄
195	H2.7	省みて二十年	企画室長 清水荘一郎	134	S60.6	社員の活性化②	* 三菱銀行副所長 中島正昭
196	H2.8	二十一世紀を想う	京都工場長 植村啓司	135	S60.7	現代人の常識とは何か	総務部長 清水荘一郎
197	H2.9	ロマンを持ちたい	経理課長 鈴木一郎	136	S60.8	継続こそ力なり	* 住友購買課長 仁賀忍
198	H2.10	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	137	S60.9	年齢ストップ作成	大東工場長 西村為雄
199	H2.11	トレンドイってなに？	春日井工場長 中瀬順一	137	S60.9	バーコードの印刷	名古屋工場長 中瀬順一
200	H2.12	私の行動基準VSOP	* 椿本購買部長 今木宏	138	S60.10	最近の業界動向	* トーモク社長 白本貞昭
201	H3.1	激動の90年代に思う	取締役社長 石田清和喜	139	S60.11	安全な機械設備の配置	* 岡西労務代表 岡西豊博
202	H3.2	報連相の重要性	専務取締役 石田秀雄	140	S60.12	からだの雑学②	業務課長 花房宗清
203	H3.3	桜の咲く頃に	八尾工場長 北口清一	140	S60.12	チャレンジャー	八尾工場長 北口清一
204	H3.4	心の健康と音楽	* 東芝EMI 北 敏行	141	S61.1	わが社の経営革新	取締役社長 石田清和喜
205	H3.5	右脳による活性化	営業部次長 堀剛郎	142	S61.2	QCについて	専務取締役 石田一二三
206	H3.6	「ケンカ」と信望	大東工場長 西村為雄	143	S61.3	私の営業雑感	常務取締役 石田秀雄
207	H3.7	健康管理は全てに優先	企画室長 清水荘一郎	144	S61.4	感応講座	* KEC理事長 木村節三
208	H3.8	強調と人間関係	京都工場長 植村啓司	145	S61.5	有能な幹部を目指せ	営業第一課長 堀剛郎
209	H3.9	誕生日を迎えて	経理課長 鈴木一郎	145	S61.5	信頼される条件	京都工場長 植村啓司
210	H3.10	教育と組織で活性化	* 三菱電機柱菱会 浜口広一	146	S61.6	常識と非常識	大東工場長 西村為雄
211	H3.11	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	147	S61.7	最近の倒産の特徴	* 東京商工部長 阪本吉徳
212	H3.12	トレンドイって②	春日井工場長 中瀬順一	148	S61.8	三菱強度試験での教訓	総務部長 清水荘一郎
213	H4.1	創立三十周年に考える	取締役社長 石田清和喜	149	S61.9	明日の為に	春日井工場長 中瀬順一
214	H4.2	全社営業体制のすすめ	取締役副社長 石田秀雄	150	S61.10	からだの雑学③	業務課長 花房宗清
215	H4.3	時の流れ	八尾工場長 北口清一	151	S61.11	安全、環境条件の整備	* 岡西労務代表 岡西豊博
216	H4.4	日本の言葉を大切に	営業部次長 堀剛郎	152	S61.12	25周年へ向けて	八尾工場長 北口清一
217	H4.5	読み書きソロバン	大東工場長 西村為雄	153	S62.1	先達の企業家精神から	取締役社長 石田清和喜
218	H4.6	海外雑感	* 松下購買主担当 宮本茂	154	S62.2	三菱研修会に出席して	常務取締役 石田秀雄
219	H4.7	月例研修会18年の歩み	企画室長 清水荘一郎	155	S62.3	始まったデフレ現象	専務取締役 石田一二三
220	H4.8	生産財購買の考え方	* 住友資材部長 山岡昭郎	156	S62.4	国際化の嵐の中で	* 三菱計画課長 岩尾守久
221	H4.9	敬語を考える	京都工場長 植村啓司	157	S62.5	三菱研修会に出席して	営業第一課長 堀剛郎
222	H4.10	水に学ぶ	財務部次長 鈴木一郎	157	S62.5	現代の忘れもの	京都工場長 植村啓司
223	H4.11	人を集められる人とは	春日井工場長 中瀬順一	158	S62.6	これからの自己啓発	大東工場長 西村為雄
224	H4.12	安全推進と小集団活動	* 岡西労務代表 岡西豊博	159	S62.7	報連相を育てよう	企画室長 清水荘一郎
225	H5.1	平成不況に生き抜く	取締役社長 石田清和喜	160	S62.8	成功の原理	* 心理研究所所長 吉本誠一
226	H5.2	後追い業務の撲滅	取締役副社長 石田秀雄	161	S62.9	明日のために②	春日井工場長 中瀬順一
227	H5.3	成功をめざすポイント	八尾工場長 北口清一	162	S62.10	日々是新	八尾工場長 北口清一
228	H5.4	会社を動かすためには	* 松下精工(株) 喜多忠文	163	S62.11	職場の安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博
229	H5.5	酒あれこれ	営業部次長 堀剛郎	164	S62.12	VAのすすめ方	* 三菱資材部課長 田中克幸
230	H5.6	常識と生活	大東工場長 西村為雄	165	S63.1	感性豊か、行動機敏	取締役社長 石田清和喜
231	H5.7	私の人生体験から	* 文筆家 武石幸雄	166	S63.2	交渉力	専務取締役 石田一二三
232	H5.8	私望とは？	京都工場長 植村啓司	167	S63.3	反省点と今後の課題	常務取締役 石田秀雄
233	H5.9	初心忘れるべからず	財務部次長 鈴木一郎	168	S63.4	中国など海外研修から	常務取締役 石田秀雄
234	H5.10	皆で防犯、すみよい町	* 警察防犯課長 田中康夫	169	S63.5	頭脳フル回転で活性化	営業第一課長 堀剛郎
235	H5.11	何気なしの言葉使いで	春日井工場長 中瀬順一	170	S63.6	私たちに今必要なもの	京都工場長 植村啓司
236	H5.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	171	S63.7	壁を破る	大東工場長 西村為雄
237	H6.1	本物の時代に生きる	取締役社長 石田清和喜	172	S63.8	生きがいを感じる	企画室長 清水荘一郎
238	H6.2	未来への雑感	取締役副社長 石田秀雄	173	S63.9	最近考えること雑感	* 松下製造部長 増田幹登
239	H6.3	能力開発	八尾工場長 北口清一	174	S63.10	小集団に参加して	春日井工場長 中瀬順一
240	H6.4	経営環境の変化と企業	* 三菱銀行所長 伊藤茂久	175	S63.11	安全の行動科学	岡西労務代表 岡西豊博
241	H6.5	大人のルール	大東工場長 西村為雄	176	S63.12	八十九年は飛躍の年に	八尾工場長 北口清一
242	H6.6	仕事への取組み方	* 三菱購買課長 角洋一郎	177	H1.1	向上する心で創造経営	取締役社長 石田清和喜
243	H6.7	感性を高める方法とは	京都工場長 植村啓司	178	H1.2	消費税について	* 松下資材課長 田畑一義
244	H6.8	TQC活動	八尾工場長 北口清一	179	H1.3	少量短納期へ取組み	製造部長 北口清一
245	H6.9	中国を見ての雑感	* 松下精工 増田幹登	180	H1.4	企業人としての知識	営業部次長 堀剛郎
246	H6.10	イチローの父親考	総務部部長 鈴木一郎	181	H1.5	三菱研修会に出席して	専務取締役 石田秀雄
247	H6.11	企業提案営業の心構え	春日井工場長 中瀬順一	182	H1.6	実務能力の向上	大東工場長 西村為雄
248	H6.12	安全管理入門	岡西労務代表 岡西豊博	183	H1.7	体質改善の方策	* 三菱生産管理課長 中田祐司
249	H7.1	創業精神に学ぶ	取締役社長 石田清和喜	184	H1.8	再びTQCを考える	企画室長 清水荘一郎
250	H7.2	創意・工夫と学・問	取締役副社長 石田秀雄	185	H1.9	活性化	京都工場長 植村啓司
251	H7.3	モラルの向上	八尾工場長 北口清一	186	H1.10	安全と健康管理	* 岡西労務代表 岡西豊博
252	H7.4	改革のポイント	* 精工電機社長 北村四郎	187	H1.11	情報化社会に生きる	* 三菱外注課長 角洋一郎
253	H7.5	気づき	大東工場長 西村為雄	188	H1.12	貸借対照表を読む	春日井工場長 中瀬順一
254	H7.6	礼儀の基本	京都工場長 植村啓司	189	H2.1	新年に想う	取締役社長 石田清和喜
255	H7.7	旅について一考	販売第一課長 園出景二	190	H2.2	「スキマ戦略」に学ぶ	専務取締役 石田秀雄

月例研修会一覧表

(敬称略)

回	年月	テーマ	講師	回	年月	テーマ	講師
321	H13.1	スピードアップで推進実行	代表取締役会長 石田清和喜	256	H7.8	業務上の人間性マナー	* 三菱購買課長 椋本安廣
322	H13.2	包装の現状と今後の展望	* レンゴー(株)所長 木村一夫	257	H7.9	CADと可能性	開発技術部長 田中肇
323	H13.3	業績の向上を目指して	代表取締役会長 石田清和喜	258	H7.10	プロの社員たれ!	総務部部長 鈴木一郎
324	H13.4	ISO14001キックオフ	* 松下精工マネージャー 芝原利雄	259	H7.11	新人諸君へ、我は自戒	春日井工場長 中瀬順一
325	H13.5	ISO14001環境方針と目的・目標	総務部部長 鈴木一郎	260	H7.12	安全管理(近道省略)	* 岡西労務代表 岡西豊博
326	H13.6	春日井事業部の現状	春日井工場長 中瀬順一	261	H8.1	3Sで変化に挑戦	取締役社長 石田清和喜
327	H13.7	最近のものづくりについて	* 松下精工社長 宮本茂	262	H8.2	孫子に学ぶ経営戦略	取締役副社長 石田秀雄
328	H13.8	電池の動向	* ジーエス・メルコテック部長 椋本安廣	263	H8.3	思いやり	八尾工場長 北口清一
329	H13.9	モノづくり改革について	* 松下精工プロデューサー 木原芳彦	264	H8.4	頭のいい人	大東工場長 西村為雄
330	H13.10	今年度後半期にむかって	代表取締役社長 石田秀雄	265	H8.5	ISOの承認の必要性	* 松下資材課長 田畑一義
331	H13.11	CRT業界動向	* 三菱電機課長 長谷川元一	266	H8.6	充実した時間を考える	京都工場長 植村啓司
332	H13.12	手順履行の重要性	* 岡西労務代表 岡西豊博	267	H8.7	海外進出について	* 三菱銀行調査役 佐藤健二
333	H14.1	スピードアップで推進実行	代表取締役会長 石田清和喜	268	H8.8	ストレス社会を生きる	* 開発技術部長 田中肇
334	H14.2	いまなぜISO14001か	* 日本環境認証機構 浅田能宏	269	H8.9	CSについて	* 松下電産課長 小西得弘
335	H14.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄	270	H8.10	武士道を考える	総務部部長 鈴木一郎
336	H14.4	新規事業を迎えてさらなる充実を	* 松下精工部長 井口勝己	271	H8.11	若手へのメッセージ	春日井工場長 中瀬順一
337	H14.5	創業40周年を迎えてさらなる充実を	代表取締役会長 石田清和喜	272	H8.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博
338	H14.6	ISO14001の認証を取得して	総務部部長 鈴木一郎	273	H9.1	構造変化への挑戦	取締役社長 石田清和喜
339	H14.7	社員も会社も棚卸しを	* 小矢部松下精工社長 米岡信男	274	H9.2	営業雑感特別編	取締役副社長 石田秀雄
340	H14.8	我が社における業務処理の在り方	総務部部長 鈴木一郎	275	H9.3	ネアカ人間になろう	八尾工場長 北口清一
341	H14.9	技術開発について	* 三菱三田部長 中西康之	276	H9.4	カナダに暮らしてみても	* 三菱製造管理部 松下満
342	H14.10	下期に向かって	代表取締役社長 石田秀雄	277	H9.5	人の豊かさで活性化	* 三菱銀行所長 筏悦規
343	H14.11	想像力の退化と不安全感	* 岡西労務代表 岡西豊博	278	H9.6	脳内革命	大東工場長 西村為雄
344	H14.12	自主責任経営を目指して	* 湘南松下社長 清水正幸	279	H9.7	信頼関係	京都工場長 植村啓司
345	H15.1	実行と成果	代表取締役会長 石田清和喜	280	H9.8	赤字から学ぶ	* 松下精工部長 勝屋明
346	H15.2	段ボール業界の現状について	* 太陽紙業 中西久宏	281	H9.9	生きがい 働きがい	総務部部長 鈴木一郎
347	H15.3	今期の反省と来期の展望	代表取締役社長 石田秀雄	282	H9.10	OJT実践と受け手	春日井工場長 中瀬順一
348	H15.4	新事業年度スタートに当たって	代表取締役会長 石田清和喜	283	H9.11	自主防犯活動について	* 東住吉警察警部補 家路通雅
349	H15.5	物流の考え	* 三菱テクニカ部長 畑徳昭	284	H9.12	安全の心構えと原点	* 岡西労務代表 岡西豊博
350	H15.6	ビジネスマナー	販売部長 宮地信隆	285	H10.1	競争時代の基本と実行	代表取締役会長 石田清和喜
351	H15.7	中国を覗いて思うこと	* メルコトレーディング 椋本安廣	286	H10.2	ISO9000S	* 三菱品証部長 本多憲雄
352	H15.8	日本経営品質賞に学ぶ	総務部部長 鈴木一郎	287	H10.3	人材育成の着眼点	代表取締役社長 石田秀雄
353	H15.9	人にはそれぞれの役割がある	* 春日井プロダクツ社 木原芳彦	288	H10.4	新事業年度に向けて	代表取締役会長 石田清和喜
354	H15.10	幹部社員の役割	春日井事業部長 大林敏樹	289	H10.5	心・気・体	* 椿本購買部長 小松達雄
355	H15.11	現場監督者とは	八尾事業部製造部長 大井良隆	290	H10.6	協働について	* 精工電機前社長 北村四郎
356	H15.12	合理化と安全対策	* 岡西労務代表 岡西豊博	291	H10.7	感謝の心	八尾工場長 北口清一
357	H16.1	経営基盤と信頼関係の充実を目指して	代表取締役会長 石田清和喜	292	H10.8	ゼロサム社会	総務部部長 鈴木一郎
358	H16.2	企業の社会的責任とISO9001認証取得	* エコシステムズマネージャー 松井博武	293	H10.9	自己実現を目指して	* 松下資材課長 児島和幸
359	H16.3	今期の反省と来期の展望	代表取締役社長 石田秀雄	294	H10.10	スポーツで学んだこと	* 三菱購買課長 杉本幹雄
360	H16.4	新事業年度スタートに当たって	代表取締役会長 石田清和喜	295	H10.11	それぞれの立場と責任	春日井工場長 中瀬順一
361	H16.5	現場力と人材育成	* エコシステムズ社長 宮本茂	296	H10.12	「安全管理」価値志向	* 岡西労務代表 岡西豊博
362	H16.6	VA提案は何故必要か	* 三菱三田資材部長 秋山豊太郎	297	H11.1	シンプルとスピード	代表取締役会長 石田清和喜
363	H16.7	自己実現	販売部長 宮地信隆	298	H11.2	環境マネジメントシステムについて	* 松下製造部長 松倉昭
364	H16.8	自己改革	春日井事業部長 大林敏樹	299	H11.3	得意先様の現状と対応策	代表取締役社長 石田秀雄
365	H16.9	人材の育成(幹部候補)	八尾事業部製造部長 大井良隆	300	H11.4	新事業年度への心構え	代表取締役会長 石田清和喜
366	H16.10	量の経営から質の経営	開発・渉外部長 石田正樹	301	H11.5	地域安全活動の推進について	* 東住吉署警部 森田努
367	H16.11	TDB景気動向調査	* 帝国データバンク 増井幸次	302	H11.6	ESP生産概要について	* 優水化成工場長 茂木利夫
368	H16.12	安全標識が語るもの	岡西労務代表 岡西豊博	303	H11.7	社会生活26周年を振り返って	* ジーエス副部長 藤本良介
369	H17.1	実行と自己実現	代表取締役会長 石田清和喜	304	H11.8	今思うこと	春日井工場長 中瀬順一
370	H17.2	環境品質保証について	* 松下エコシステムズ 松倉昭	305	H11.9	サプライチェーンマネジメント(SCM)	* 松下企画室長 青木吉彦
371	H17.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄	306	H11.10	集中力をつける	総務部部長 鈴木一郎
372	H17.4	新事業年度に向かって	代表取締役会長 石田清和喜	307	H11.11	キャッシュフローについて	* 三菱購買課長 植田秀範
373	H17.5	物流と包装	販売部長 宮地信隆	308	H11.12	人間はミスをするもの	* 岡西労務代表 岡西豊博
374	H17.6	人望力	開発業務部長 大林敏樹	309	H12.1	自立と改革への挑戦	代表取締役会長 石田清和喜
375	H17.7	統計的手法と品質管理	* 三菱三田所長室 重田一郎	310	H12.2	IT化に乗り遅れない為に	* 三菱電機部長 松井進
376	H17.8	ざっと仕事をしたい	総務部部長 鈴木一郎	311	H12.3	決算を迎えるにあたって	代表取締役社長 石田秀雄
377	H17.9	十年後の私	春日井事業部長 石田正樹	312	H12.4	新事業年度にあたって	代表取締役会長 石田清和喜
378	H17.10	国際基準と日本経済	* ダイパックス常務 蟹江脩	313	H12.5	製造販売関係法規	* 松下精工マネージャー 田畑一義
379	H17.11	生産革新の取組み	* 松下エコシステムズ 岡野透	314	H12.6	春日井の現状と今なすべきこと	春日井工場長 中瀬順一
380	H17.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	315	H12.7	中原に鹿逐(おう)	総務部部長 鈴木一郎
381	H18.1	すくやる・必ずやり抜く確かな実行	代表取締役会長 石田清和喜	316	H12.8	営業の役目	* チョゴコンテナ 北村邦夫
382	H18.2	当社の基本理念とルールについて	総務部部長 鈴木一郎	317	H12.9	中間決算を迎えて	代表取締役社長 石田秀雄
383	H18.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄	318	H12.10	自己創造	春日井事業部長 中瀬順一
384	H18.4	新事業年度に向かって	代表取締役会長 石田清和喜	319	H12.11	サラリーマン道	総務部部長 鈴木一郎
385	H18.5	自分を少しだけ変えてみませんか?	* 三菱三田課長 静谷和樹	320	H12.12	安全管理「まさかとやはり」	* 岡西労務代表 岡西豊博

月例研修会一覧表

(敬称略)

回	年月	テーマ	講師	回	年月	テーマ	講師
451	H23.10	国内景気の現状と今後	* 帝国データバンク 長尾隆宏	386	H18.6	マーケティング入門	販売部長 宮地信隆
452	H23.11	目的を持って行動	総務部部長 鈴木一郎	387	H18.7	「すぐやる」と仕事はうまくいく	開発業務部長 大林敏樹
453	H23.12	安全管理「停電しても」	* 岡西労務代表 岡西豊博	388	H18.8	購買部門からみた魅力ある取引先とは	* 和菱テクニカ課長 吉田秋孝
454	H24.1	自己実現と業績成果	代表取締役会長 石田清和喜	389	H18.9	運営業務推進細則の総論について	代表取締役会長 石田清和喜
455	H24.2	リーダーになるために	常務取締役 石田正樹	390	H18.10	前半期を終えて	代表取締役社長 石田秀雄
456	H24.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄	391	H18.11	業務分掌細則	総務部長 鈴木一郎
457	H24.4	創立50周年を迎えて	代表取締役会長 石田清和喜	392	H18.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博
458	H24.5	仕事に取り組む姿勢	常務取締役 宮地信隆	393	H19.1	プロ道に徹して自立しよう	代表取締役会長 石田清和喜
459	H24.6	PDCAによる仕事の進め方	総務部部長 鈴木一郎	394	H19.2	販売部門の細則	販売部長 宮地信隆
460	H24.7	販売の立場での簿記	常務取締役 宮地信隆	395	H19.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄
461	H24.8	春日井事業部の対策と効果	常務取締役 石田正樹	396	H19.4	新事業年度に向かって	代表取締役会長 石田清和喜
462	H24.9	ムダ取りと5S3定	* 三菱姫路物流課長 安川純一郎	397	H19.5	事業部門の細則	春日井事業部長 石田正樹
463	H24.10	第52期前半を終えて	代表取締役社長 石田秀雄	398	H19.6	SFA(営業支援システム)	* NIコンサルティング 世古誠
464	H24.11	運営業務推進細則	総務部部長 鈴木一郎	399	H19.7	発想改革による業務改善	* 三菱三田資材部長 竹下幸雄
465	H24.12	職場のメンタルヘルスを考える	* 岡西労務代表 岡西豊博	400	H19.8	製造部門の細則	販売部長 宮地信隆
466	H25.1	スリムで敏速な挑戦	代表取締役会長 石田清和喜	401	H19.9	事業部門の細則	春日井事業部長 石田正樹
467	H25.2	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田正樹	402	H19.10	前半期を終えて	代表取締役社長 石田秀雄
468	H25.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地信隆	403	H19.11	会社のここを見よう	* 帝国データバンク 長尾隆宏
469	H25.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田秀雄	404	H19.12	安全な作業とは	* 岡西労務代表 岡西豊博
470	H25.5	ビジネスマナー	販売部 課長 石田哲也	405	H20.1	スリムな堅実成長を目指して	代表取締役会長 石田清和喜
471	H25.6	運営業務推進細則(業務)	総務部部長 鈴木一郎	406	H20.2	販売部の細則	常務取締役 宮地信隆
472	H25.7	私の考える日本のものづくりの方向性	* パナソニックエコシステムズ 矢寺博之	407	H20.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄
473	H25.8	アイデアを出すには	常務取締役 宮地信隆	408	H20.4	新事業計画達成に向けて	代表取締役会長 石田清和喜
474	H25.9	仕事の効率化	販売部 課長 石田哲也	409	H20.5	事業部門の細則	常務取締役 石田正樹
475	H25.10	第53期前半期を終えて	常務取締役 石田正樹	410	H20.6	総務部門の細則	総務部長 鈴木一郎
476	H25.11	運営業務推進細則(品質)	総務部部長 鈴木一郎	411	H20.7	製造部門の細則	常務取締役 宮地信隆
477	H25.12	安全、衛生管理研修	* 岡西労務代表 岡西豊博	412	H20.8	事業部門の細則	常務取締役 石田正樹
478	H26.1	積極姿勢で推進実行	代表取締役会長 石田清和喜	413	H20.9	経営理念について	* パナソニックエコ大阪 木原芳彦
479	H26.2	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田正樹	414	H20.10	前半期を終えて	代表取締役社長 石田秀雄
480	H26.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地信隆	415	H20.11	販売部門の細則	常務取締役 宮地信隆
481	H26.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田秀雄	416	H20.12	安全管理-段差の危険性-	* 岡西労務代表 岡西豊博
482	H26.5	クレーム対応	販売部 課長 石田哲也	417	H21.1	挑戦は続く	代表取締役会長 石田清和喜
483	H26.6	運営業務推進細則(品質)	総務部部長 鈴木一郎	418	H21.2	ムダをなくすには...	常務取締役 宮地信隆
484	H26.7	経営マネジメントについて	常務取締役 宮地信隆	419	H21.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄
485	H26.8	学ぶということ	* 三菱三田資材部長 石田良夫	420	H21.4	今期事業計画達成への挑戦	代表取締役会長 石田清和喜
486	H26.9	販売力強化の為に	販売部 課長 石田哲也	421	H21.5	春日井事業部の現状及び対策	常務取締役 石田正樹
487	H26.10	第54期前半期を終えて	常務取締役 石田正樹	422	H21.6	若さを長持ちさせたい	総務部長 鈴木一郎
488	H26.11	ムダを無くしたい	総務部部長 鈴木一郎	423	H21.7	数字に強くなるには	常務取締役 宮地信隆
489	H26.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	424	H21.8	「やる気」と「怒」で成功する仕事術	* 浅野経営研究所 浅野宗克
490	H27.1	基本を大切に	代表取締役会長 石田清和喜	425	H21.9	Panasonicにモノづくりを戻す!	* パナソニックエコ(株)春日井 清水正幸
491	H27.2	ISOについて	* インターチャック・ラボレーション 美濃英雄	426	H21.10	前半期を終えて	代表取締役社長 石田秀雄
492	H27.3	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田正樹	427	H21.11	春日井事業部の対策効果	常務取締役 石田正樹
493	H27.4	新事業年度に向かって	代表取締役社長 石田秀雄	428	H21.12	安全管理	岡西労務代表 岡西豊博
494	H27.5	提案推進営業のために	販売部 課長 石田哲也	429	H22.1	挑戦は更に続く	代表取締役会長 石田清和喜
495	H27.6	前期の反省と今期の抱負	常務取締役 宮地信隆	430	H22.2	報・連・相について	常務取締役 宮地信隆
496	H27.7	モノづくりの基本 5S・安全	* パナソニックエコシステムズ 岡本仁伸	431	H22.3	今期の反省と来期の抱負	代表取締役社長 石田秀雄
497	H27.8	販売と提案について	常務取締役 宮地信隆	432	H22.4	粘りの挑戦は未来を拓く	代表取締役会長 石田清和喜
498	H27.9	ランニングを仕事に活かす	販売部 課長 石田哲也	433	H22.5	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田正樹
499	H27.10	前半期を終えて	常務取締役 石田正樹	434	H22.6	P・D・C・Aが基本	総務部長 鈴木一郎
500	H27.11	仕事を楽しむ	総務部部長 鈴木一郎	435	H22.7	品質管理について	常務取締役 宮地信隆
501	H27.12	安全管理	* 岡西労務代表 岡西豊博	436	H22.8	自動車部品 出荷物流と改善	* 三菱姫路物流課 中村嘉行
502	H28.1	改善開発への再挑戦	代表取締役会長 石田清和喜	437	H22.9	春日井事業部の対策と効果	常務取締役 石田正樹
503	H28.2	アウトソーシングについて	常務取締役 石田正樹	438	H22.10	前半期を終えて	代表取締役社長 石田秀雄
504	H28.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地信隆	439	H22.11	総務業務の問題点と改善策	総務部長 鈴木一郎
505	H28.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田秀雄	440	H22.12	安全・健康管理	岡西労務代表 岡西豊博
506	H28.5	VEをやってみよう	* 三菱京都資材部 長谷川元一	441	H23.1	確かな計画、即実行	代表取締役会長 石田清和喜
507	H28.6	報連相の実行	販売部 課長 石田哲也	442	H23.2	伝える力について	常務取締役 石田正樹
508	H28.7	租税教室	総務部 係長 碧山純子	443	H23.3	気働きについて	常務取締役 宮地信隆
509	H28.8	仕事の進め方	常務取締役 宮地信隆	444	H23.4	確かな計画、即実行	代表取締役会長 石田清和喜
510	H28.9	障がい者に働きやすい職場とやる気がでる会社を目指し	* パナソニックエコ共栄 木原・山本	445	H23.5	初めての簿記入門	総務部長 鈴木一郎
511	H28.10	前半期を終えて	常務取締役 石田正樹	446	H23.6	モノづくりにおける品質の重要性について	* パナソニックエコシステムズ 岡野透
512	H28.11	ISOを仕事に活かす	販売部 課長 石田哲也	447	H23.7	仕事の効率化	常務取締役 宮地信隆
513	H28.12	使い勝手のテクニック	* 岡西労務代表 岡西豊博	448	H23.8	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田正樹
514	H29.1	創立五五周年を迎えて	代表取締役会長 石田清和喜	449	H23.9	前半期終了を間近に控えて	代表取締役社長 石田秀雄
515	H29.2	リーダーであるために	常務取締役 石田正樹	450	H23.9	3部会推進で黒字体質へ	代表取締役会長 石田清和喜

月例研修会一覧表

回	年月	テーマ	講師	回	年月	テーマ	講師
516	H29.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆	581	R4.9	前半期を終えて	常務取締役 宮地 信隆
517	H29.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄	582	R4.10	年金制度について	* 日本年金機構 田河 新吾
518	H29.5	なぜ生きる なぜ仕事をするのか	* 枚方市議会議員 妹尾 正信	583	R4.11	ウルトラマラソンを走り終えて	販売部 部長 石田 哲也
519	H29.6	売上シェアUPの為に	販売部 課長 石田 哲也	584	R4.12	日常生活での契約を知る	* 岡西労務代表 岡西 豊博
520	H29.7	目的と目標を明確に	総務部 課長 碧山 純子	585	R5.1	好奇心と行動	代表取締役社長 石田 秀雄
521	H29.8	配慮について	* 三菱姫路物流課 佐藤 邦彦	586	R5.2	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田 正樹
522	H29.9	企画提案について	常務取締役 宮地 信隆	587	R5.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆
523	H29.10	前半期を終えて	常務取締役 石田 正樹	588	R5.4	モチベーション維持	販売部 部長 石田 哲也
524	H29.11	ISO環境・品質の取組み	販売部 課長 石田 哲也	589	R5.5	涵養に努めましょう	総務部長 碧山 純子
525	H29.12	危機管理のための情報連絡	* 岡西労務代表 岡西 豊博	590	R5.6	性善説と性悪説	総務課長 小山 正之
526	H30.1	年頭研修会	代表取締役会長 石田清和喜	591	R5.7	免疫力を高める	八尾工場長 吉越 康
527	H30.2	役員幹部の役割	常務取締役 石田 正樹	592	R5.8	春日井事業部の対策と効果	常務取締役 石田 正樹
528	H30.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆	593	R5.9	前半期を終えて	常務取締役 宮地 信隆
529	H30.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄	594	R5.10	税に対する向き合い方	* 税理士 三好 長城
530	H30.5	仕事と付き合う	* 三菱冷熱資材部 大本 義万	595	R5.11	日常にメリハリをつける	販売部 部長 石田 哲也
531	H30.6	体調管理 健康管理	販売部 課長 石田 哲也	596	R5.12	安全は一人ひとりが責任者	* 岡西労務代表 岡西 豊博
532	H30.7	チームワークを大切に	総務部長 碧山 純子	597	R6.1	ファイブプレーより堅実、確実に	代表取締役社長 石田 秀雄
533	H30.8	タイムマネジメント	常務取締役 宮地 信隆				
534	H30.9	前半期を終えて	常務取締役 石田 正樹				
535	H30.10	中国での工場改革体験談	* パナソニックシステムズ(中国) 大月 利文				
536	H30.11	目標達成の為に	販売部 課長 石田 哲也				
537	H30.12	会社を守る労働コンプライアンス	* 弁護士 城塚 健之				
538	H31.1	やはり基本が大切だ	代表取締役会長 石田清和喜				
539	H31.2	損益分岐点のノウハウについて	常務取締役 石田 正樹				
540	H31.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆				
541	H31.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄				
542	R1.5	健康に日々を過ごすためには	販売部 次長 石田 哲也				
543	R1.6	働き方改革について	総務部長 碧山 純子				
544	R1.7	競争-協力(共存共栄)	* 枚方市議会議員 妹尾 正信				
545	R1.8	入社25年目を迎えて	常務取締役 宮地 信隆				
546	R1.9	前半期を終えて	常務取締役 石田 正樹				
547	R1.10	社長のひとり言	代表取締役社長 石田 秀雄				
548	R1.11	思いやりの心を持っていますか?	販売部 次長 石田 哲也				
549	R1.12	安全の意味とは	* 岡西労務代表 岡西 豊博				
550	R2.1	更なる挑戦に向けて	代表取締役会長 石田清和喜				
551	R2.2	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田 正樹				
552	R2.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆				
553	R2.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄				
554	R2.5	思考について	販売部 次長 石田 哲也				
555	R2.6	イノベーションを楽しむ	総務部長 碧山 純子				
556	R2.7	計画達成に向かって	常務取締役 石田 正樹				
557	R2.8	段取り力を高める	八尾事業部課長 吉越 康				
558	R2.9	前半期を終えて	常務取締役 宮地 信隆				
559	R2.10	自律神経を整える	販売部 次長 石田 哲也				
560	R2.11	機能性材のご紹介	* レンゴー(株) 尾崎・中野				
561	R2.12	マニュアルに甘えない	* 岡西労務代表 岡西 豊博				
562	R3.1	基本に添って新たな挑戦	代表取締役会長 石田清和喜				
563	R3.2	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田 正樹				
564	R3.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆				
565	R3.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄				
566	R3.5	継続は力なり	販売部 次長 石田 哲也				
567	R3.6	快適に働くための健康管理	総務部長 碧山 純子				
568	R3.7	春日井事業部の対策と効果	常務取締役 石田 正樹				
569	R3.8	仕事の仕組化	八尾事業部課長 吉越 康				
570	R3.9	前半期を終えて	常務取締役 宮地 信隆				
571	R3.10	ブランド化のあゆみ	* 中小企業診断士 横山 武史				
572	R3.11	ウルトラマラソンを走り終えて	販売部 次長 石田 哲也				
573	R3.12	安全の原因は基から	* 岡西労務代表 岡西 豊博				
574	R4.2	「生き方」人間として一番大切な事	常務取締役 石田 正樹				
575	R4.3	今期の反省と来期の抱負	常務取締役 宮地 信隆				
576	R4.4	新事業年度へ向かって	代表取締役社長 石田 秀雄				
577	R4.5	顧客価値を上げる為には	販売部 次長 石田 哲也				
578	R4.6	多様な生き方	総務部長 碧山 純子				
579	R4.7	春日井事業部の現状と対策	常務取締役 石田 正樹				
580	R4.8	出ていない仕事のルール	八尾工場長 吉越 康				

月例研修会風景

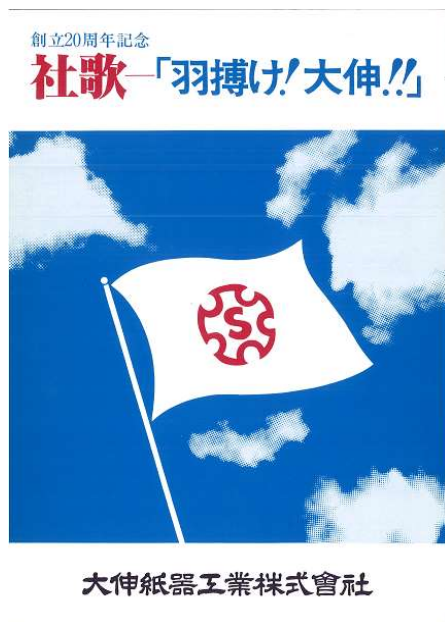


● 基本態度の足跡 ●

S62	S61	S60	S59	S58	S 57	S56	S55	S54	S53	S52	S51	年度	
87'	86'	85'	84'	83'	82'	81'	80'	79'	78'	77'	76'	会長 石田清和喜	基本指針
アシンク・シンク・シンク・	経営革新と情報開発	創造と挑戦	積極姿勢と使命感	気力と体力	信念と実践	信頼と努力	原点と対応	考案と実行	考案と行動	計画と実行	創意と工夫		
新社名で躍進	大きな前進	全員参加で大きな飛躍	つねに積極的に倍増作戦	つねに改善研究開発	時間厳守はすべての原点	5S精神計画実行	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成				社長 石田秀雄（平成元年より）	行動指針
堀 剛郎	中瀬 順一	北口 清一	石田 秀雄	石田 一三三	石田 一三三	石田 一三三	石田 一三三	石田 一三三					
安全発売期はみんなの躍進	品質納期はみんなの躍進	創意工夫で商品開発	技術アップで品質向上	成果で示そう計画達成	基本で示そう安全作業	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成	みんなの創意で目標達成	毎年全社員より募った標語です	作業標語
伊藤 若 藤 勇 容 美 和 正 生	小旗 神 原 直 浩 野 原 浩 一 昭	梅長 堀 原 剛 昭 三 三 三 三	北神 花 原 宗 清 浜 由 美 子	小中 石 原 秀 政 瀬 田 秀 信 一 雄	石緒 堀 田 剛 正 直 直 直	金高 補 島 村 啓 江 実 司	堀中 村 川 多 剛 順 壽 郎 一 子	山旗 梅 下 野 原 和 秀 昭 三	北那 石 須 田 清 和 秀 一 夫 雄				
H11	H10	H9	H8	H7	H6	H5	H4	H3	H2	H元	S63	年度	
99'	98'	97'	96'	95'	94'	93'	92'	91'	90'	89'	88'	会長 石田清和喜	基本指針
シンプルと	基本と実行	自立への挑戦	3S（スピード・セレクト・スリム）で変化に挑戦	品質と技術開発	開発へ挑戦	開発へ発進	開発に眼を	変化に即応	ニューチャレンジ	向上する心で創造経営	豊かな感性、そして機敏な行動		
体制の確立	5W2Hで資質の向上	5W2Hでミス・ゼロ	プラス思考で対応力アップ	品質保証で計画達成	企画提案でシニアアップ	開発技術でシニアアップ	開発技術で業績向上	効率アップで計画達成	常に開発倍増作戦	こころ新たに計画達成	使命と責任を果たそう	社長 石田秀雄（平成元年より）	行動指針
石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	石田 秀雄	北口 清一		
信頼は基本作業のつみかさね	安全は一人ひとりの心から	品質納期はみんなの手順と姿勢	アイデアとチャレンジで計画達成	準備とやる気で計画実行	今年こそ目指そう計画達成	英知でめざそう販売増強	改善努力で確認安全第一	信頼は品質納期の証から	創造と熱意で確かな仕事	小さなミスでも報、連、相	即実行、報告連絡相談	毎年全社員より募った標語です	作業標語
真本 春 理 木 裕 啓 清 水	森 向 谷 井 政 二 順 一 睦	前伊 池 藤 上 花 藤 池 典 二 子 吉 慶	松大 宮 地 本 井 隆 匠 良 隆 美	工業 浅 藤 原 沼 久 子 美 拓	星伊 栗 野 藤 原 和 潤 美 久	園北 中 出口 瀬 景 清 順 二	西堀 補 村 剛 啓 雄 郎 司	工吉 藤 木 佐 登 一 志 志 郎	樽宮 沖 田 清 健 一 美 美	浦松 神 山 本 原 浩 一 清 一 夫 雄	森末 中 林 永 拓 士 典 子 シ エ 子		

H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	年度	
11'	10'	09'	08'	07'	06'	05'	04'	03'	02'	01'	00'	会長 石田清和喜	基本指針
確かな計画、即実行	挑戦は更に続く	挑戦は続く	スリムでスピード対応	プロ道と自立	すぐやる・必ずやり抜く確かな実行	実行と自己実現	基盤充実と信頼関係	実行と成果	顧客対応スピード上げて	スピードアップで推進実行	自立と改革	社長 石田秀雄（平成元年より）	行動指針
情報収集力アップで最適行動	原価力向上で収益必達②	原価力向上で収益必達	営業業務推進細則②	営業業務推進細則	企画・提案力強化で収益向上	販売計画達成への挑戦	クレジットバランス（最良・最善）への挑戦	挑	ハイスピードへの挑戦	ハイスピードへの挑戦	ECシステムで効率アップ	改革で収益アップ	作業標語
石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	毎年全社員より募った標語です	
毎日進め、実績あわせて安全確認	計画を守り果した責任	品質は一人ひとりの安全	まず実行、知恵と工夫	思うより行動起して	力量アップ、効率アップ	高品質がもたらす信頼	良品を知り、良く知	ミス排除で利益改善	対応は今すぐ！その場	点検・確認・事故防止	創意工夫で計画達成		
小野正純	伊藤孝一	中山忠章	山越三郎	上野美夜	石原美也	新大雄	大東敏三	大東信隆	宮地正隆	小東敏正	宮地信隆		
R5	R4	R3	R2	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	年度	
23'	22'	21'	20'	19'	18'	17'	16'	15'	14'	13'	12'	会長 石田清和喜	基本指針
挑戦と安定	革新への挑戦	基本に添って新たな挑戦	更なる挑戦に	やがて基本が大切だ	チャレンジ精神を大切に	変化に対応	改善開発への再挑戦	基本を大切に	積極姿勢で推進実行	スリムで敏速な挑戦	自己実現と業績成果	社長 石田秀雄（平成元年より）	行動指針
好奇心と行動	仕事の向上	鳥の目、虫の目、魚の目で計画達成	報連相の充実で計画達成	5W2Hで計画達成	PDCサイクルII	PDCサイクルI	魚の目、虫の目、鳥の目で仕事力向上	基本力、説得力、交渉力の向上②	基本力、説得力、交渉力の向上	費用対効果②	費用対効果	毎年全社員より募った標語です	作業標語
石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄	石田秀雄		
安全作業の徹底	品質は一人ひとりの責任	計画を見据えて計画達成	全員のスキルを上げて	全員の力を合わせて	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足	油断せず、顧客満足		
石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也	石田純也		

										R6	年度
										24'	
										変化と共生	社長 石田秀雄
										確実に フラインプレーーより堅実・	
										改善の積み重ねで計画達成 品質保証 気が付く気が利く心掛け 安全は全ての作業の最優先	毎年全社員より募った標語です
										吉越 康 石田 哲也 成富 隆夫	



社歌

「羽搏け!大伸!!」

作詞 高丘 哲夫
作曲 石田清和喜
編曲 児玉 秀夫

緑の葉は 大伸旗
輝く青空に 幸福の
伸びゆく若樹 ありあけの活力
「S」の精神 われらが使命
基歩はわい われとあり

星ははたはた 大伸旗
嵐の空に 若葉の
形雲らし 羽搏く雄姿
奉仕の精神 われらが理想
鋭い筆に 突とあり

心ぞ燃ゆる 大伸旗
旗の端に 輝き見よ
永遠にわらぬ 社歌の豪歌
正義の旗 われらが誇り
眼を上げて 誇とあり

誓は誓は誓は 大伸旗
誓は誓は誓は 大伸旗

●令和6年度(64期)運営基本態度●

基本指針

「変化と共生」

行動指針

「ファインプレーより堅実、確実に」

代表取締役社長 石田 秀雄

令和6年度事業計画

販売計画 【月商】 5,000万円

- 各部門独立採算により事業計画を完全実施することとし、つねにユーザーのニーズにすばやく対応し、新しい、トータルパッケージに挑戦する。
- 販売は顧客に満足度100%を提供し、信頼度を高め、製造は事故、ミスを零とし、納期品質を高め在庫の適正化を推進する。
- T・Q・Cに全員参加して、少数精鋭をもって、先ず行動する事とし、知的水準を高め従業員の福利厚生を図り、健全成長を期す。

作業標語

「改善の積み重ねで計画達成」

八尾工場長 吉越 康

「品質保証 気が付く気が利く心掛け」

取締役販売部長 石田 哲也

「安全はすべての作業の最優先」

本社総務部主任 成富 隆夫

環境標語

「リサイクル 使える資源は最後まで」

本社総務部主任 北村 志津子

月例強化目標

月 度	テーマ	月 度	テーマ
1 月 度	本年度も計画実行に邁進しよう	7 月 度	計 画 作 業 推 進 実 行
2 月 度	チームワークを大切に	8 月 度	作業は正しく順序よく
3 月 度	在庫の適正化を図ろう	9 月 度	ゼロ災害へ全員参加
4 月 度	納期厳守は我らの使命	10 月 度	安全第一健康第一
5 月 度	創業精神の原点に戻ろう	11 月 度	品質へいつも管理の目と心
6 月 度	ムダなくムリなく原価低減	12 月 度	整理整頓心の整頓

わが社の月例強化目標朝礼集

大伸報編集

■一月度朝礼 「本年度も計画実行に邁進しよう」

あけましておめでとうございます。
一月度の強化目標は「本年度も計画実行に邁進しよう」であります。

いまビジネスの世界は、まさに厳しく暗い状況にあります。日頃から澁刺とした元気な顔、少し眠たそうな暗い顔それぞれですが、本年度も計画実行に邁進するためにはみんな一人ひとりの顔が「澁刺とした元気ない顔」であってほしいのです。

いま、まさに「第一印象は顔がすべて」そして「顔が履歴書」とも言われています。私は「いい顔」になるためには、まず健康であること、前向きであること、良い仕事をする事、マナー良く誠実であること、良い人と触れ合うこと、自惚れないで少しの自信を持つことが必要だと考えます。

誰にでも、明るい表情だけの「いい顔」は何時でも作れるのです。「いい顔」の基本は何よりも笑顔です。毎日鏡を見て繰り返し皆さんも必ず「いい顔」になり、「いい顔」は幸運や幸せを呼びよせてくれます。

本年度も計画実行に前向きに「いい顔」で邁進していきましょう。

■二月度朝礼 「チームワークを大切に」

二月の強化目標は「チームワークを大切に」であります。「チームワークを大切に」とは、お互いに切磋琢磨して共通の目標を達成し、経営目的を果たすためには、報告・連絡・相談を密にすること、バラバラで仕事をしておればムダやミスが多くて、業績向上に繋がりません。だからチームワークは大切なのです。職場のリーダーは事前に報連相のコミュニケーションを図り、スピードを挙げて対応することが求められます

共通の目標や経営目的すらも果たせないと肩をなであい、

褒め合い、慰め合う集団ではもはや生き残れないのです。

本日のチームワークとは単なる仲良し慣れ合い集団ではなく、自分が育ち、稼ぎ、自分たちの待遇が良くなるためにお互いに協力するところにより、ミス、ロスのない仕事をする事です。私は素晴らしいチームワークの集団であって欲しいと願っております。どうか、風邪を引かないで計画達成に向けて頑張りましょう。

■三月度朝礼 「在庫の適正化を図ろう」

三月の強化目標は「在庫の適正化を図ろう」であります。

わが社の包装業種は見込生産ではなく受注生産です。在庫の適正化の原点は、受注に応じて発注してその数を納入するのが基本です。それがためには納期、品質、数量、粗利益率など受発注簿と作業工程表に計画記入して、その都度日々の在庫調整に生かして活用することです。現場では在庫の適正化には材料、製品の外、印版、金型、木型など整理整頓が求められます。必要以上の在庫は資金を圧迫します。特にミス・ロス・クレームの不良在庫を絶えずゼロ対策に努めることが求められます。今一度、未達成などころ、不備なところを点検して、阪神製造部門は月製造高の一〇%以内に収めることです。

三月一日より七日まで一週間は春季火災予防週間です。火災予防に取り組みましょう。

この三月は節目の決算月です。少しでも良い業績で締めくくります。

■四月度朝礼 「納期厳守は我らの使命」

四月の強化目標は「納期厳守は我らの使命」であります。

四月より新事業年度がスタート致します。私どもの小さい会社の強みは、どんな仕事でも小回りをきかせてお客様から先ず信頼されて選んでいただくことです。

ダイニンググループが今日あるのは納期を厳守してきたからです。納期を厳守することとは段取り良く仕事をすることです。

特に阪神八尾製造部門では、納期厳守を実践するために現物、現場、現状の三現主義を基本に受発注簿記入、作業工程、運送計画など早めに準備段取り仕事を組み立て確かな納期厳守に取り掛かることです。納期厳守は私ども段ボール業界の最優先課題でもあります。

さらに納期厳守を果たすためには、ミス、ロス、クレームを無くする確かな仕事を推し進めることです。

■五月度朝礼 「創業精神の原点に戻ろう」

五月の強化目標は「創業精神の原点に戻ろう」であります。

ダイシン(株)は昭和三七年五月に設立されました。ちなみに関係会社石田商事(株)も昭和三四年五月、阪神紙器も昭和四五年五月です。

丁度三六年前の創立二五周年記念の時に「大伸紙器工業(株)」から「ダイシン(株)」に社名変更致しました。このことは創立二五周年記念誌「薫風」の発刊のなかに、創業精神の原点の意味するところは、五月の爽やかな青空に向かって、企業規模を大きくすることよりも中身の充実を図る堅実経営をしようと記されております。

この創業精神を実現するために、わが社の基本指針である納期厳守、品質保証、少数精鋭をコツコツと実行することがお客様から信頼され選ばれるという趣旨です。

創業精神には、「人を大切に」、「人が育つ」理念がこめられています。

申すまでもなく黒字経営は必ず給与待遇などを改善してくれま
す。黒字経営は生きがいも考え方も職業観も変えてくれます。わ
が社の創業精神とは中身の充実をコツコツと積み重ねること
で、皆さん一人ひとりも自己実現を目指してご活躍を期待する
ところ
です。

■六月度朝礼 「ムダなくムリなく原価低減」

六月の強化目標は「ムダなくムリなく原価低減」であります。

ムダなくムリなく事業活動を推進することが原価低減に繋がって利益に結びつくという趣旨です。時間のムダ、仕事のムダ、ムリをなくすることが業績向上にも繋がるのです。

環境ISO、品質ISOを通じてムダの発見、基本を身につけて自己実現を通じてムリをしないで原価低減ができるレベルアップしていこうということ。いま、求められているのは、ムダなくムリなく業績向上に寄与する仕事力です。

それぞれの立場でムダなくムリなくプラン・ドウ・チェック・アクションを果たすことが原価低減に結びつくのです。

また、六月は安全準備月間です。七月一日の国民安全の日に備えての準備月間です。

わが社も環境ISO、品質ISO取得しておりますが、如何に立派な事を言っても、職場では、ゴミや不良品を出しては環境、品質ISO取得の資格はありません。

ムダなく、ムリなく原価低減の原点は整理整頓であり、一人ひとりの心の気配りです。

事故なく怪我なく明るい職場に努めましょう。

■七月度朝礼 「計画作業、推進実行」

七月の強化目標は、「計画作業、推進実行」であります。

今更申し上げるまでもございませぬが、私どもの段ボール包装は受注産業ですから、受注を受けると、先ず受発注簿に納期・品名・数量・単価・利益率などを確認のうえ速やかに記入確認し、受発注計画作業を行い、綿密に推進実行することです。先ず、注文を受ける際に、適正な利中を確保しているか、納期厳守、クレーム再発防止に心掛けているか、いま改めて受発注簿の中に計画作業から推進実行することが託されているのです。計画だけは立派に立てても実行が伴わなければ、成果が期待できません。

プラン・ドウ・チェック・アクションの積み重ねを通じて、確かな結果が生まれるものです。

ビジネスの世界では現実にお金の出て行く費用と、儲けで入ってくるお金のバランスを保つのが私たちに与えられた使命であります。それぞれの役割で、儲けという飯の種になる仕事をするこ

と、計画作業、推進実行という仕事の哲学をきっちり身につけて現状認識することです。

作業工程表では綿密な作業時間の流れを計画し、運送計画では行き先、品名、数量、納品伝票などに間違いがないかを事前にチェックし、確実に一つひとつ推進実行していくところに「計画作業、推進実行」テーマの意義があります。

■八月度朝礼 「作業は正しく順序よく」

八月の強化目標は「作業は正しく順序よく」であります。作業は正しく手順よく仕事に取り組みことです。大事なことは優先順位であります。

正しく手順よく段取り良く工夫して進めることが八月の強化目標です。

強い会社は事前に受注量と利益率を把握して順序よく儲けと経費のバランスを適正に実現していることです。

正しい作業とは、見積り受発注の初期の段階で、適正な利中を確保して納期、数量、凶面など正しく順序よく確認実行されていることです。

製造部門でも受発注簿記入確認にも優先順位など正しい手順があり、作業工程にも準備段階の順位があり、ミス、ロス、クレームも正しく順序よく基本を見つめて実践実行しておれば、発生しない筈です。

私は「作業は正しく順序よく」の基本は、自己実現に努め、自分ミス、ロス、クレームを絶対に出さないという決意にあると考えます。

そして運送計画を考え作業も正しく順序よく段取りすることです。それを日々の作業のなかに躰として習慣づけることです。

暑い時ですがケガ事故なく、ポカミスのクレームがないように心掛けて下さい。

■九月度朝礼 「ゼロ災害へ全員参加」

九月の強化目標は「ゼロ災害へ全員参加」であります。

九月一日は防災の日です。これは大正一二年九月一日に関東大震災が起こった日に因んで定められました。

最近では、集中豪雨や台風などで被害が発生しておりますが、日頃から防災の備えに心掛けることが大切なことです。

私どもでも九月が特に不注意による事故、怪我、クレームなどゼロ災害へ全員参加で、災害ゼロで明るく過ごしたいものです。

九月は仮決算月ですが、少しでも良い業績で締めくりたいものです。

それぞれの仕事の基本を理解して、細則を習得しているかどうかで事故防止に繋がると思っています。

①口で教えて二〇%、②書かせて四〇%、③やってみせて六〇%、④相手にやらせて八〇%の成長効果があるとされております。「山本元帥の格言」

皆さん一人ひとりが会社の資産・財産です。負債であってはならないのです。

整理、整頓は災害を防止してくれます。

阪神八尾製造部では近ごろ大きな災害事故がないのが幸いです。

いま、無災害・無事故はゼロが続いています。

強化目標を果たしたことになるのです。

一〇月度朝礼 「安全第一、健康第一」

一〇月の強化目標は「安全第一、健康第一」です。

安全第一と健康維持は絶えず自らの自己管理の精度を上げることです。

安全第一では、車の点検を行い、ブレーキ、ハンドルはどうか。現場では作業姿勢や動作は安全か、服装や靴は安全か、設備機器の手入れは安全か、健康第一では、夜遊びが過ぎて自分の体調は大丈夫か、風邪などひかないように健康に留意しているか、健康を維持することは一人ひとりの努めです。

一〇月から後半期にはいります。

これからも、まさに厳しい競争を余儀なくされていくなかで、世間では仕事の精度がレベルアップしておりまして、早く追いつき追い越さなくてはなりません。皆さんが汗を流した数だけ、しんどい目をした数だけ必ず自分のものとして精度アップしていかねばならないのです。

安全第一、健康第一で仕事の精度を上げてがんばりましょう。

■一二月度朝礼 「品質へいつも管理の目と心」

一二月の強化目標は「品質へいつも管理の目と心」であります。わが社の基本理念は①納期厳守、②品質保証、③少数精鋭であります。

納期厳守は信頼関係を生み、品質保証は企業の人格を表し、少数精鋭は人が育つ宝庫を意味します。

「品質へいつも管理の目と心」とは一言でいえばミス、ロス、クレームを出さない目と心の防止哲学を持つことです。

仕事には現物・現場・現状の三現主義を通じて問題点が視えてきて、その困難に立ち向かってこそ本場のレベルアップが図れると思います。

品質クレームを発生させないために、事前に受発注簿、作業工程表にきめ細かく段取りを立てて、材質、寸法、図面などをいつも絶えずチェック確認する良い習慣を習得することです。そこに「クレーム・ザ・ストップ」のスタートがあります。

クレーム・不良在庫は、業績に足を引っ張る大きな罪悪であります。

ミス・ロス・クレームも無くなった、不良在庫も無くなった、業績も良くなったと言う本場の「品質へいつも管理の目と心」を身につけて下さい。日頃は常に怪我のないように努力しましょう。

■一二月度朝礼 「整理整頓、心の整頓」

一二月の強化目標は「整理整頓、心の整頓」であります。

仕事の整理整頓は勿論大切ですが、心の整頓も一層大切です。現場での出来具合はどうか、お取引先の人間関係はうまくいって

いるかどうかなど見つめ直すのも、来年に向けての前進の心掛けではないかなと思います。

整理とは要るものと要らないものを区分して、要らないものを捨てることです。整頓とは必要なときに直ぐに取り出せるように置き場を決めることです。心の整頓とは、例えばC在庫、未収、売掛、買掛の3ゼロ作戦はどうだったか、自分は今、何が出来たか、何が出来るか、どのような行動をすればうまくいくかを見据える考えを持つことです。

阪神八尾製造部では見るところ整理整頓されておりませんが、最も大切なのは皆さんの心の整頓です。

お客様からは、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」が求められます。従って私どもボックスメーカーは受注産業ですから、採算ベースを睨みながら、一層「材料手配」から「出荷」までの受発注簿、作業工程をしつかり段取り仕事を組み立てておかなければならないのです。見込み手配は結果として不良在庫の発生の原因になり、手間の掛かる問題を抱えることになるのです。日頃から整理整頓に心掛け、何時でも出荷できる心の整頓が求められるところです。是非、クレームなく、納期遅れなく、C在庫ゼロ、そして事故なく良い正月を迎えるようお願い致します。それが本場の整理整頓、心の整頓なのです。



経営理念

社是 幸せ

幸せは、愛があるところから始まる

人間は、この世に生まれた以上、お互いに自らの生活をより豊かで快適なものにしたいことを願っている。

企業経営には、よりよくありたいという幸せが根幹になくてはならない。



代表取締役社長
石田秀雄

基本指針

- 1 納期厳守
- 2 品質保証
- 3 少数精鋭主義

基本姿勢

- 1 独創開発する
 - 2 向上挑戦する
 - 3 誠意で信頼される
 - 4 企業文化をめざす
- ダイシン**

基本態度

(社章  5S精神)

- 1 Service (サービス) ⇒ 奉仕の精神
- 2 Speed (スピード) ⇒ 迅速な行動
- 3 Science (サイエンス) ⇒ 合理的な行動
- 4 Strength (ストレングス) ⇒ 強力な躍進
- 5 Soundness (サウンドネス) ⇒ 堅実経営

諸会議・行事日程時間一覧表

時間曜日	午前10時～12時	午後1時～ 午後2時	午後2時～ 午後3時	午後3時00分 ～午後4時00分	午後5時30分～ 午後6時30分
第1土曜日 又は 第2土曜日	○経営戦略役員会議 ○営業戦術会議 (品質会議) ○計画達成と改善指標	○個人別計画達成 ○実践対策推進 (システム見直し) (品質利益改善) (原価分析・工程見直)	○行動計画発表会 ○課題研究会 (良品100%出荷) (受発注簿の活用) (段ボール箱の基礎)	○月例研修会	○幹部慰労会 (1月、9月 研修会終了後) ○全社忘年会 (12月最終日)

全社朝礼	毎月初出勤日	未収チェック	月曜日会議後15分以内
整理清掃日	毎週月曜日始業15分以内	在庫出荷チェック	最終月曜日会議後15分以内
業務打合せ会	毎週月曜午前8時45分より15分以内	財務・支払チェック	毎月15日午前10時より60分以内
伝票打合せ会	毎週月曜午前9時より15分以内	朝礼打合せ会(八尾)	毎日始業時より15分以内

月例研修会行事予定表

行動計画発表会

月度	講師	テーマ	月度	発表者	テーマ
1月度	社長 石田秀雄	ファインプレーより堅実、確実に	1月度	宮地常務	販売責任者としてのファインプレーより堅実、確実に
2月度	常務 石田正樹	気がきく人、気がきかない人の習慣	2月度	石田常務	事業部責任者 //
3月度	常務 宮地信隆	今期の反省と来期の豊富	3月度	吉越工場長	製造責任者 //
4月度	部長 石田哲也	伝える	4月度	碧山部長	総務責任者 //
5月度	部長 碧山純子	健康経営の取り組み	5月度	石田部長	販売部長 //
6月度	課長 小山正之	常識は変わるもの	6月度	伊藤係長	事業部係長 //
7月度	工場長 吉越 康	改善のヒント	7月度	落合係長	製造係長 //
8月度	常務 石田正樹	語彙力について	8月度	小山課長	総務課長 //
9月度	常務 宮地信隆	2024年度前半期を終えて	9月度	中田主任	販売主任 //
10月	外部講師		10月度	成富主任	総務主任 //
11月	部長 石田哲也	戦略	11月度	北村主任	//
12月	労務士 岡西先生	労務研修	12月度	石田社長	今期の総論まとめと来期の行動方針

基本推進細則内容

NO	細則等名称	NO	細則等名称
1	基本理念	15	製造部門の検査
2	朝礼の言葉	16	管理工程図
3	営業基本態度	17	図面管理細則
4	営業チェックリスト	18	安全作業細則
5	品質保証細則	19	整理整頓細則
6	業務3ゼロ作戦	20	棚卸在庫管理細則
7	業務分掌細則	21	社員サービス細則
8	購買業務細則	22	帳票記入細則
9	外注管理細則	23	事務基本マナー
10	外注先評価	24	経理処理細則
11	アイデア提案細則	25	伝票処理細則
12	標準原価算出表	26	書類保存細則
13	製造技術基本態度	27	書類一覧表
14	品質保証体系図	28	業績考課規定

● 会社概要

<u>名称</u>	ダイシン株式会社
<u>本社所在地</u>	〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺1丁目8番12号
<u>代表者</u>	代表取締役社長 石田秀雄
<u>創立</u>	昭和37年5月23日
<u>資本金</u>	4,500万円
<u>営業本部</u>	〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺1丁目8番12号 TEL(06)6714-2281(代表)・FAX(06)6714-1256
<u>八尾事業部</u>	〒581-0039 大阪府八尾市太田新町5丁目82番地 TEL(0729)49-4241(代表)・FAX(0729)49-4243
<u>春日井事業部</u>	〒486-0805 愛知県春日井市岩野町1丁目193番地 TEL(0568)83-5860・FAX(0568)87-7292
<u>京都物流センター</u>	〒617-0828 京都府長岡京市馬場見場走25番8 TEL(075)955-8631・FAX(075)955-8631
<u>大東物流センター</u>	〒574-0064 大阪府大東市御領1丁目254番地 TEL(0720)71-6585・FAX(0720)71-6586 https://daishin-co.com/
<u>URL</u>	
<u>従業員数</u>	20名(男子15名、女子5名)
<u>取引銀行</u>	三井住友銀行 美章園支店 三菱UFJ銀行 阿倍野橋西支店
<u>営業品目</u>	段ボール箱製造・販売及び包装資材全般取扱い
<u>役員</u>	代表取締役社長 石田 秀雄 常務取締役 宮地 信隆 取締役 石田 哲也 常務取締役 石田 正樹 取締役 碧山 純子
<u>関係会社</u>	阪神紙器工業株式会社(八尾市)・石田商事株式会社(大阪市) 優水化成工業株式会社滋賀工場(提携会社)
<u>所属団体</u>	大阪商工会議所・大阪府工業協会・八尾商工会議所・春日井商工会議所 東住吉防犯協会・東住吉納税協会・大阪南労働基準協会

● 主要御得意先(順不同)

三菱電機株式会社 (京都製作所)	三菱電機トレーディング株式会社	住友電気工業株式会社
(三田製作所)	三菱電機システムサービス株式会社	(伊丹製作所)
(冷熱システム製作所)	三菱電機ロジスティクス株式会社	(大阪製作所)
(中津川製作所)	三菱電機冷熱応用システム株式会社	(熊取製作所)
(姫路製作所)	オートゼウス株式会社	住友電装株式会社
(通信機製作所)	株式会社菱和	住友電工焼結合金株式会社
(コミュニケーションネットワーク製作所)	パナソニックエコシステムズ株式会社	ASプレーキシステムズ株式会社
(名古屋製作所)	パナソニックエコシステムズベンテック株式会社	日鉄精密加工株式会社
(鎌倉製作所)	パナソニックエコシステムズ共栄株式会社	日鉄物産マテックス株式会社
(伊丹製作所)	パナソニックコネクト株式会社	平井精密工業株式会社
	株式会社コムラ製作所	／その他50社

● 主要御仕入先(順不同)

大陽紙業株式会社	大阪岡本紙工株式会社	大阪印刷インキ製造株式会社
レンゴロ株式会社 (三田工場)	一村産業株式会社	相互製版株式会社
(新名古屋工場)	岩谷マテリアル株式会社	株式会社興啓社
(福井工場)	東神物産株式会社	優水化成工業株式会社
ザ・パック株式会社	もりや産業株式会社	サカタインクス株式会社
多治見ダイナパック株式会社	株式会社名古屋モウルド	石田商事株式会社
日本紙器株式会社	旭洋紙パルプ株式会社	阪神紙器工業株式会社
樽谷包装産業株式会社	株式会社アイチパック	その他20社
日本紙工業株式会社	株式会社ヤマガタグラビア	
	株式会社アイプラネット	

● 会 社 の 沿 革

年 度	期	年 月 日	資 本 金	摘 要
S37年 (1962年)	第1期	S37年5月23日創立	50万	37年5月に株式会社石田商店(社長 石田清和喜)の系列会社として初代社長石田徳治郎氏により、東住吉区今川町に大伸紙器工業(株)今川工場を設立。電々公社取引開始。
S38年 (1963年)	2	S38年11月増資	100万	住友電気工業(株)開拓。
S39年 (1964年)	3		100万	
S40年 (1965年)	4	S40年11月増資	250万	8月売り上げの上昇に伴い業務拡張のため、今川工場を八尾工場に移転拡張、生産設備を充実し体制を図る。松下精工(株)開拓。
S41年 (1966年)	5	S41年1月増資	500万	
S42年 (1967年)	6		500万	
S43年 (1968年)	7		500万	三菱電機(株)開拓。 石田徳治郎代表取締役死去。石田清和喜代表取締役就任。
S44年 (1969年)	8	S44年10月増資	750万	8月営業販売面の強化のため東住吉区大塚町に本社営業所開設。
S45年 (1970年)	9	S45年3月増資	1,000万	5月生産拡充と販売促進を図るため伊丹市に阪神紙器工業(株)(社長石田清和喜)を設立。椿本チエイン(株)開拓。
S46年 (1971年)	10	S46年6月増資	1,200万	創立10周年記念行事(八尾工場)。 6月に生産ロットの合理化と製品の流通調整円滑化を図るため大東市に商品物流センターを設置。
S47年 (1972年)	11	S47年2月増資	1,600万	外部講師社員研修会実施。
S48年 (1973年)	12	S48年6月増資	2,000万	9月幹部社員による月例研修会を開始。
S49年 (1974年)	13	S49年6月増資	2,500万	
S50年 (1975年)	14		2,500万	10月品質・納期管理の適正効率化を図るため大東流通センターに製造機械を設置、大東工場として生産稼働。
S51年 (1976年)	15	S51年12月増資	3,000万	創立15周年記念行事(八尾工場)。運営基本方針設定。八尾工場の生産体制を整え、研究部門の強化により包装の技術開発に着手。
S52年 (1977年)	16		3,000万	アサヒ衛陶(株)開拓。
S53年 (1978年)	17	S53年6月増資	4,500万	9月に主要御得意様の製造部門一部移転により、春日井市に春日井工場を設置完成し、納品体制を整える。阪急共栄物産(株)開拓。
S54年 (1979年)	18		4,500万	社内報大伸報「だいしん」第1号発刊。 独立採算制の強化により部門別計画運営を実施、効果をあげる。
S55年 (1980年)	19		4,500万	11月主三菱電機(株)京都製作所様のご要望に応えるため京都工場を工事着工し、納品体制を整え資本と財務内容の充実を図る。
S56年 (1981年)	20		4,500万	創立20周年記念行事(八尾工場)記念行事。 京都工場開設(長岡京市)。
S57年 (1982年)	21		4,500万	新社屋工事着工(東住吉区北田辺1-8-12)。
S58年 (1983年)	22		4,500万	1月本社社屋完成竣工式を行う。 (株)石田商店より石田商事(株)に社名変更。
S59年 (1984年)	23		4,500万	
S60年 (1985年)	24		4,500万	9月製造部門の充実と円滑を図るため阪神紙器工業(株)大東工場より八尾移転及びダイシンパック(株)を大東市に設立。
S61年 (1986年)	25		4,500万	ダイシン株式会社にて社名変更。 開発部発足。
S62年 (1987年)	26		4,500万	創立25周年記念行事(本社)。 記念誌「薫風」発刊。
S63年 (1988年)	27		4,500万	商品展示研究室設置。
H元年 (1989年)	28・29	(変則決算)	4,500万	海外研修実施。
H2年 (1990年)	30		4,500万	海外研修、技術開発力強化、新機械設備導入。

年 度	期	年 月 日	資 本 金	摘 要
H3年 (1991年)	31		4,500万	製造工程改善 (多品種小ロット機械設備改善)。
H4年 (1992年)	32		4,500万	創立 30 周年記念行事 (本社)、優良従業員表彰。 優良申告法人表敬状受賞 (東住吉税務署)。
H5年 (1993年)	33		4,500万	開発部門充実強化。
H6年 (1994年)	34		4,500万	営業開発部門充実強化、生産効率強化推進。
H7年 (1995年)	35		4,500万	品質保証認定証授受 (NewQig) (松下精工㈱)。 大東工場生産効率整備。
H8年 (1996年)	36		4,500万	キャド設置による企画提案開発力推進。
H9年 (1997年)	37		4,500万	創立 35 周年記念行事 (天王寺都ホテル)、優良従業員表彰、 石田清和喜会長就任、石田秀雄社長就任。
H10年 (1998年)	38		4,500万	「企画提案と実行活動」対応。
H11年 (1999年)	39		4,500万	販売強化と品質保証、優良申告法人再表敬。
H12年 (2000年)	40		4,500万	企画提案力・営業力強化。
H13年 (2001年)	41		4,500万	EC 導入による効率アップの実施。
H14年 (2002年)	42		4,500万	創立 40 周年記念行事 (本社) 優良従業員表彰。 ISO14001 認証取得、石田会長大阪国税局長賞受賞。
H15年 (2003年)	43		4,500万	春日井事業部の有効活用。
H16年 (2004年)	44		4,500万	ISO9001 認証取得。
H17年 (2005年)	45		4,500万	環境品質保証体制確立(RoHS 指令対応など)。
H18年 (2006年)	46		4,500万	京都工場、大東工場の有効活用。
H19年 (2007年)	47		4,500万	創立 45 周年記念行事 (本社)、優良従業員表彰。
H20年 (2008年)	48		4,500万	企画提案・販売促進・堅実スピード経営を推進。
H21年 (2009年)	49		4,500万	企画提案力、営業力アップの為に人材育成及び補強。
H22年 (2010年)	50		4,500万	事業仕訳の導入で効率アップ。
H24年 (2012年)	52		4,500万	創立 50 周年記念行事 (本社)、優良従業員表彰。
H26年 (2014年)	54		4500万	交通安全表彰状 (大阪府警察本部長)。 (公社) 大阪府工業協会より感謝状。
H27年 (2015年)	55		4500万	ホームページをリニューアル。
H28年 (2016年)	56		4500万	受発注システムのリニューアル。
H29年 (2017年)	57		4500万	創立 55 周年記念行事 (本社)、優良従業員表彰。営業開発力強化。
H30年 (2018年)	58	決算 58 期 (H30/4~H31/3)	4500万	システムの構築による対応スピード改善と効率化。
H31年 (2019年)	59		4500万	3D CAD 導入により、包装設計の提案強化
R 2年 (2020年)	60		4500万	現場効率アップと営業利益改善推進
R 3年 (2021年)	61		4500万	生産性向上に向けた設備の改良
R 4年 (2022年)	62		4500万	ホームページをリニューアル
R 5年 (2023年)	63		4500万	営業力、製造力の強化 (サンプルカッター導入)

総務だより

受賞のよろこび

令和5年5月26日

三菱電機(株) 三田製作所 小野山所長より
撰菱会活動共通テーマ 最優秀賞 受賞

取締役
石田哲也




2023 社内表彰

TQC提案改善事例報告 **努力賞**
「治具改善」
アイデア提案 **優秀賞**
「ファンモーター用梱包箱提案」

八尾事業部 中田佳輝
製造主任
常務取締役 宮地信隆

活動報告

 2023年5月9日、5月29日 公益社団法人 東住吉納税協会 青年部活動による
租税教室実施 (大阪市内小学校)
講師：ダイシン(株) 碧山 (写真右)



協力会社として、フェアに参加しました。
段ボールを使って、地域の子供たちと作業しました(^_^)

[第19回産業交流フェア\(平野区・東住吉区\) \(sangyo-fair.info\)](http://sangyo-fair.info)

第19回 入場無料 産業交流フェアのご案内

●ごあいさつ
少しずつ日常生活に戻りつつある中、今年も産業交流フェアを開催できることとなりました。みなさまのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年に続きモノづくりに焦点を当て、子供たちに体験をしてもらうことで、地元産業を知り、興味を持つきっかけになるように願って進めてきました。産業交流フェアが地域産業の活性化に貢献できるように努めてまいります。
第19回産業交流フェア実行委員長 長榮健司

フェアの原点! モノづくり体験! 体験を通してモノづくりの楽しさを知って欲しい。そこから身近な会社や職業を理解して欲しい。そんなフェアメンバーの想いで開催する今年の産業交流フェア。触れて、学んで、作って、使って、楽しい交流の場となってもらえれば最高です。モノづくり体験は、新たな自分の発見だ!



廃材アート製作体験
タイルなどの廃材を使って、素敵なアートを作ろう!
〈大阪府中小企業家同友会 東住吉支部〉



機械のばらし体験
「へー、こんなふうになっていたのか!」普段身の回りにはある機械を分解してみる、という楽しい体験です。
〈(株)新生〉



化粧箱の組立て工作体験
紙箱の折り目をくせ付けて、立体にする楽しさを体感してください。
〈フタバ紙器(株)〉



ステンレス板でペン立てを作ってみよう!!
普段あまり目に見えない工具、エアリベッターを使ってリベット打ちを体験しよう。
〈樋口金庫(株)×(株)津田製作所〉



話題の3Dプリンターを操作してみよう!
なんとなく知ってても、身近に少ない3Dプリンター。実際に操作しながら目の前で完成していくドキドキ体験!
〈(株)山本金属製作所と平野産業会青年部有志〉



2F会場 ゴム銃の製作体験
大人には懐かしい、子どもには新鮮。そんなゴム銃の製作体験です。ドキドキ作って、ワクワク遊ぼう!
〈日本ゴム銃射撃協会 大阪市支部〉



日本で唯一の総合工芸施設「クラフトパーク」のモノづくり教室!
「電動ろくろ体験」「錫の罫置き作り」「はた織り機でコースター作り」、今年もクラフトパークがフェアでモノづくり教室どれも魅力的ですね。
〈大阪市立クラフトパーク〉



2F会場 缶バッジ製作体験
テーマやデザインは自由自在! 自分だけのオリジナルバッジを作ろう!
〈うめだ印刷(株)〉



2F会場 段ボールで遊ぼう!
普段は箱のイメージが強い、段ボール。作って、触れて、様々な段ボールの魅力と可能性を感じてください。
〈実行委員会有志/協カデザイン(株)〉



会場/コミュニティプラザ平野 (平野区民センター)

お問い合わせ 第19回 産業交流フェア実行委員会 ☎06-6777-3123 FAX.06-6700-2216
第19回 産業交流フェアホームページ 産業交流フェア 検索 <https://www.sangyo-fair.info/>



🎉 2023年2月 本社社屋 外装リニューアル

1983年社屋完成以来の大改修工事をしました。

○ 改修前

40年の歴史を感じる社屋です(‘◇’)ゞ



○ 改修後

ダイシングループの新しい歴史が始まりました！(^^)/



🎉 2023年11月 本社事務所 レイアウト変更工事

外装に続き、内装も改修しました。
心機一転、頑張りましょう！

○ 改修前

想像以上に広い事務室でした(*'▽')



○ 改修後

かなり雰囲気変わりました。席数増やしたのに、スペース広々です。



令和 6 年度 (2024) 休日予定表

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土	
1		①	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	
	⑦	⑧	9	10	11	12	13		⑦	8	9	10	11	12	13	
	⑭	15	16	17	18	19	20		⑭	⑮	16	17	18	19	20	
	⑳	21	22	23	24	25	26		27	㉑	22	23	24	25	26	27
	㉒	29	30	31					㉒	29	30	31				
2					1	2	3	8					1	2	3	
	④	5	6	7	8	9	10		④	5	6	7	8	9	10	
	⑪	⑫	13	14	15	16	17		⑪	⑫	13	14	15	16	17	
	⑱	19	20	21	22	㉓	24		⑱	19	20	21	22	23	24	
	㉔	26	27	28	29				㉔	26	27	28	29	30	31	
3	③	4	5	6	7	8	9	9	①	2	3	4	5	6	7	
	⑩	11	12	13	14	15	16		⑧	9	10	11	12	13	14	
	⑰	18	19	㉕	21	22	23		⑮	⑯	17	18	19	20	21	
	㉒	24	25	26	27	28	29		30	㉒	㉓	24	25	26	27	28
	㉔	31							㉔	30						
4		1	2	3	4	5	6	10			1	2	3	4	5	
	⑦	8	9	10	11	12	13		⑥	7	8	9	10	11	12	
	⑭	15	16	17	18	19	20		⑬	⑭	15	16	17	18	19	
	⑳	21	22	23	24	25	26		27	⑳	21	22	23	24	25	26
	㉒	㉓	30						㉒	28	29	30	31			
5	⑤	⑥	7	8	9	10	11	11	③	④	5	6	7	8	9	
	⑫	13	14	15	16	17	18		⑩	11	12	13	14	15	16	
	⑰	19	20	21	22	23	24		⑰	18	19	20	21	22	㉖	
	㉒	26	27	28	29	30	31		㉒	25	26	27	28	29	30	
6	②	3	4	5	6	7	8	12	①	2	3	4	5	6	7	
	⑨	10	11	12	13	14	15		⑧	9	10	11	12	13	14	
	⑱	16	17	18	19	20	21		22	⑮	16	17	18	19	20	21
	㉒	23	24	25	26	27	28		29	㉒	23	24	25	26	27	28
	㉔								㉔	30	31					

- 印 (公休日) ■印 (会社休日) は予定日をあらわす
- 取引先その他の事情により休日を変更することがある
- 1月・9月幹部会

休日日数 105日
稼働日数 261日
年間日数 366日

●国民の祝日

元旦	1/1	憲法記念日	5/3	秋分の日	9/22
成人の日	1/8	みどりの日	5/4	スポーツの日	10/14
建国記念日	2/11	こどもの日	5/5	文化の日	11/3
天皇誕生日	2/23	海の日	7/15	勤労感謝の日	11/23
春分の日	3/20	山の日	8/11		
昭和の日	4/29	敬老の日	9/16		

編集後記

昨年11月、石田会長が旅立ちました。私にとっては、優しい伯父でもありました。元気に、「おはようさん！」と出社してきた会長の姿は、社員の心にも生き続けると思います。私と伯父の共通の趣味でした、「音楽」を通して、今年も楽しく、元気に頑張って行きます。

最後までご一読ありがとうございました。
ご意見、ご感想お待ちしております。

大伸報 「だいしん」

編集責任者 碧山純子

編集委員 宮地信隆

石田正樹

発行日 令和6年1月6日

発行者 ダイシン株式会社

発行責任者 石田秀雄